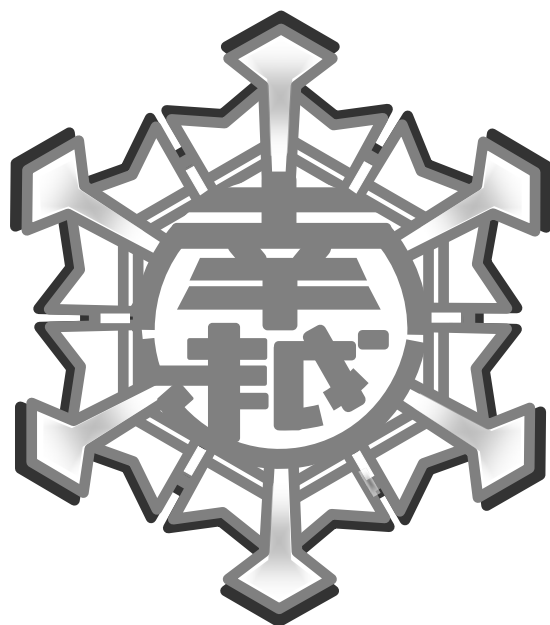


平成20年
消防年報



平成21年刊行
南越消防組合

はしがき

南越消防組合は、昭和45年9月1日、旧武生市、旧今立町の1市1町の構成でスタートしました。市町村合併や他町村の加入を経て、現在は、越前市、池田町、南越前町の1市2町の構成となり、住民が安全と安心を実感できる消防行政を推進しています。

南越消防組合は、火災や救急・救助だけでなく、災害予防の徹底、管内住民への広報など多様な活動に取り組んできました。近年は、多発する豪雨や台風、地震などの自然災害、または人的災害などでの被害が増大しており、職員の訓練や消防装備の増強に努めています。

しかし、世界の動きが即座に日本へ波及する現在、災害事案も複雑多様化しております。様々な事態に適切に対応できるよう、日々研鑽を積んでおりますが、消防を取り巻く現状は厳しさを増しています。

この消防年報は、南越消防組合の消防力及び平成20年中の消防業務に関する現況を収録し、広く紹介するために編集、発行するものであります。

今後における消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化を推進するために、この年報が消防関係者だけでなく多くの関係各位にご活用いただけることを願っています。

平成21年5月

南越消防組合消防本部

目 次

管内の地域地勢	1
南越消防組合設立の経緯 構成市町の人口・世帯数等	2
南越消防組合のあゆみ	3-6
管内における大火の記録	7

○総務関係

消防本部・署の現況	8
消防相互応援協定	9
南越消防組合組織機構	10
消防予算 歳出の性質別内訳	11
消防職員の配置状況	12
消防職員の勤続年数	13
消防職員の年齢区分	14
消防職員の各種資格取得状況	15
消防音楽隊	16

○予防関係

防火対象物の現況	17
消防用設備等の設置状況	18
消防法・火災予防条例に基づく各種届出状況	19
危険物施設の設置状況	20
危険物関係各種事務処理状況	21
建築物同意状況	22
消防関係各種講習会等の状況	23

○警防関係

火災出場状況	24
消防車両等配置状況	25
特殊機械器具の状況	26
消防水利の状況	27
水防資器材の状況	28

○通信関係

通信施設系統図	29
消防通信施設の状況	30
119番受信状況	31
その他の緊急通報受信状況 災害別覚知状況	32
月別降雨量（過去5年間） 過去5年間の気象状況	33
気象情報受信状況	34

○火災統計

平成20年中における火災の概要.....	35
火災発生状況（過去5年間）.....	36
行政区域別火災発生状況.....	37
月別火災発生状況.....	38
用途別・原因別火災発生状況.....	39
出火原因別火災発生状況.....	40
初期消火の状況 曜日別火災発生状況.....	41

○救急・救助統計

平成20年中における救急・救助の概要.....	42
署所別救急出場状況.....	43
月別救急出場状況.....	44
傷病程度別搬送人員 過去5年間における救急出場状況.....	45
応急処置の状況.....	46
北陸自動車道における救急出場状況.....	47
救助出場状況.....	48
発生場所別救助出場状況 曜日別救助出場状況.....	49

○消防団

南越消防組合消防団の沿革.....	50
消防団組織機構.....	51
消防団員の配置状況.....	52
消防団員の年齢状況 消防団員の勤続年数 消防団員報酬.....	53
消防車両配置状況.....	54
小型動力ポンプ配置状況.....	55

○関係団体

越前市防火・防災委員会 南越地区危険物安全協会 自警消防隊.....	56
越前市自衛消防隊連絡協議会 少年消防クラブ 幼年消防クラブ.....	57

管内の地域地勢

南越消防組合は、越前市、池田町、南越前町の1市2町で構成され、人口101,620人、面積約769平方キロメートルを管轄しています。管轄区域の周辺は、東に大野市及び岐阜県、西に日本海、南に敦賀市及び滋賀県、北は鯖江市、越前町及び福井市にそれぞれ接しています。

越前市

越前市は、大化の改新のころに越前の国府が置かれ、以来、長い歴史のなかで千年以上も越前地方の中心地として発展してきました。北陸の秋を彩る「たけふ菊人形」や紫式部公園、古都の街並みを活かした「蔵の辻」などの観光地には、毎年県内外から多くの観光客が訪れます。

また、古くからものづくりが盛んで1500年の歴史をもつ越前和紙をはじめ、越前打刃物などの伝統工芸品の産地です。紙すきができる「パピルス館」や刃物づくりができる「タケフナイフビレッジ」などでは伝統産業に直接触れることができます。近年はハイテク産業が立地し、県下第1位の製造品出荷額を誇る産業都市として発展を続けています。

池田町

池田町は、四季の変化が美しい山間の町で、近年は森林資源を活かした木工品や山菜、蕎麦などを生産しています。溪流温泉冠荘、能楽の里歴史館や能面美術館などの文化観光施設なども整備され、「田楽アートビレッジ池田」を道標に活性化に取り組んでいます。

南越前町

南越前町は、古くから陸と海の交通の要衝にあり、海、山、里の美しい自然と豊かな環境、多様な歴史文化遺産に恵まれた町です。日野川上流部の山間地に位置する今庄地区は豊かな森林に恵まれ、その下流に位置する南条地区は、日野川の両岸に整備された田園地帯が広がっています。若狭湾に面する越前加賀海岸国定公園の一角にある河野地区は、豊かな自然と海の幸にあふれています。「海と緑の歴史の恵みに抱かれて、出会いから活力の花ひらく町」を基本理念に、町づくりに取り組んでいます。

敦賀市からJR北陸トンネルを北に抜けると当組合管内となります。北陸自動車道とともに中京、関西圏の接続点として当地方の重要性が一段と高まり、今後も広域的な経済交流が深まるものと予想され、管内構成市町の更なる発展と飛躍が期待されています。

南越消防組合設立の経緯

昭和45年7月に設立された武生鯖江地区広域市町村圏協議会（2市7町2村）は、圏域の一体的な振興発展を図るための計画を樹立し、理想的な圏域の形成を定義づけました。消防に関しても、道路交通網の発達により、市町村間が時間的距離的に短縮され、災害が複雑多様化してきたことから、消防行政の広域化と専門的知識や高度の技術を有する常備消防体制の確立を望む地域住民の声が高まってきました。

このため、昭和24年より常備消防体制を整えていた旧武生市を中核として消防一部事務組合を組織し、逐次、次のとおり隣接町村が加入して、現在「南越消防組合」は、1市2町で構成されております。

昭和45年 9月1日	武生市と今立町で「南越消防組合」を設立
昭和46年10月1日	南条町と河野村が加入
昭和47年10月1日	池田町と今庄町が加入
平成17年 1月1日	南越前町が加入（南条町、今庄町、河野村合併に伴うもの。）
平成17年10月1日	越前市が加入（武生市、今立町合併に伴うもの。）

当組合は、消防団や消防施設も含めたすべての消防事務を共同処理しています。

構成市町の人口・世帯数等

平成21年4月1日現在

市町別 状況	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
越前市	85,982	28,556	230.75
池田町	3,382	1,086	194.72
南越前町	12,256	3,633	343.84
計	101,620	33,275	769.31

南越消防組合のあゆみ

当組合の構成市町には、江戸時代から火消組が置かれていましたが、明治２７年２月の勅令「消防組規則」に基づき消防組に改組し、公設消防体制が始まりました。その後、戦雲せまる昭和１４年１月の「警防団令」により、防空のために組織されていた防護団と消防組を統合して警防団が設置されました。終戦後は、昭和２２年４月の「消防団令」により警防団を消防団に改組、その後、昭和２２年１２月に公布された消防組織法により自治体消防体制がスタートしました。

常設消防の歩みは、大正１５年６月に武生町消防組の内部機関として部員３名の常設部が設置されたのが始まりで、昭和２４年３月７日、この常設部を解消し、定員３０名、消防車４台を配備した武生市消防本部と消防署が設置されました。

以来、人員、施設等も増強され、「南越消防組合」設立前には定員４０名、１本部、１消防署、１分遣所に、化学車１台を含む消防ポンプ自動車７台、救急車２台を整えるに至りました。

年月日	沿革
昭和 45. 9. 1	武生市と今立町で「南越消防組合」を設立 武生市に消防本部、消防署及び村国分遣所開設 定数条例改正（職員５５名、武生消防団４５０名、今立消防団１０６名）
昭和 45.10. 1	消防本部機構制定（庶務・予防・警防の３係を設置）
昭和 46.10. 1	南条町と河野村が組合加入、職員定数条例改正（６５名）
昭和 46.10.15	団員定員条例改正（南条消防団６０名、河野消防団９３名）
昭和 46.12.22	今立署開庁、消防業務開始（職員８名、消防車２台、救急車１台）
昭和 47. 3.30	団員定員条例改正（河野消防団６０名）
昭和 47. 4. 1	南条署開庁、消防業務開始（職員６名、消防車１台、救急車１台）
昭和 47. 6.22	今立町自警消防隊連合会発足
昭和 47. 7.10	集中豪雨で水防活動実施（南条町清水川、武生市鞍谷川堤防決壊）
昭和 47. 8.12	南条署に水槽付消防ポンプ自動車配備
昭和 47.10. 1	池田町と今庄町が組合加入 職員定数条例改正（８０名） 消防本部機構改革（総務・予防・警防の３課設置） 河野署開庁、消防業務開始（職員５名、消防車１台）
昭和 47.10.30	団員定員条例改正（池田消防団６３名、今庄消防団１０５名）
昭和 47.11. 6	北陸トンネル内列車火災事故発生、救助活動実施（死者３０名、負傷者７１４名）
昭和 48. 4. 1	今庄署開庁、消防業務開始（職員６名、消防車２台、救急車１台） 南越地区消防協会設立
昭和 48. 9. 1	内閣総理大臣表彰（北陸トンネル内列車火災事故での救助活動に対して）
昭和 48.10. 2	火災予防条例制定
昭和 48.12.25	１６ｍ級シュノーケル車購入、本署配備
昭和 49. 1.28	池田署業務開始（職員６名、消防車１台、救急車１台、仮庁舎にて）
昭和 49. 3.30	職員定数条例改正（８５名）
昭和 49. 5. 2	池田署庁舎新築落成
昭和 50. 6.21	消防音楽隊発足（隊長以下１６名）
昭和 51. 3.30	職員定数条例改正（９０名）
昭和 51. 5.11	南越地区危険物安全協会発足（武生市危険物安全協会を発展的に改称）
昭和 51. 5.14	今庄町自警消防隊連絡協議会発足（今庄町部落消防連絡協議会を発展的に改称）
昭和 51.11. 1	消防相互応援協定締結（北陸自動車道業務に関し、対福井地区）
昭和 51.11. 2	北陸自動車道武生－福井間救急業務開始

年月日	沿革
昭和 51.12.15	国高分署庁舎落成、業務開始（職員6名、消防車2台、救急車1台）
昭和 52. 1.18	河野署に水槽付消防ポンプ自動車配備
昭和 52. 3.28	職員定数条例改正（94名）
昭和 52.12. 5	消防相互応援協定締結（北陸自動車道業務に関し、対敦賀美方（組））
昭和 52.12. 8	北陸自動車道武生一敦賀間救急業務開始
昭和 52.12.24	池田署に水槽付消防ポンプ自動車配備
昭和 52.12.28	消防救急一斉指令装置導入、集中管理による指令業務開始
昭和 53. 9.29	消防団定員条例改正（池田消防団60名）
昭和 53.12.25	職員定数条例改正（103名）
昭和 54. 8.13	全国消防救助技術大会出場（はしご登はん）
昭和 55. 3.31	本部庁舎の3階増築工事竣工
昭和 55. 9.21	組合設立10周年記念式典挙行
昭和 56. 1.14	56豪雪、雪害対策本部設置（消防車運行不能、武生市積雪 205 cm）
昭和 56. 3.28	職員定数条例改正（106名）
昭和 56. 7.13	今立町花筐小学校少年消防クラブ発足
昭和 56.10. 1	消防本部等機構改革（消防本部3課6係、消防署3課8係、消防署に副署長制）
昭和 57. 4. 1	今庄町少年消防クラブ発足
昭和 57. 7. 1	南越地区消防協会を南越消防協会に改称
昭和 57.10. 1	救助隊設置（隊長以下7名）
昭和 57.10.28	救助工作車の寄贈を受け本署に配備（日本損害保険協会）
昭和 57.11.21	南越婦人防火委員会（防火クラブ）発足
昭和 58. 4. 1	池田町魚見住宅火災発生（死者4名）
昭和 58.11.15	消防相互応援協定締結（北陸自動車道業務に関し、対鯖江・丹生（組））
昭和 58.11.15	丈生神山幼稚園幼年消防クラブ発足
昭和 59. 4. 1	今庄町今庄・堺・堺東3幼稚園及び今庄・湯尾・宅良・鹿蒜4保育所で幼年消防クラブ発足 消防本部警防課内に通信指令室を設置
昭和 59.11.28	おうしお、たんぼぼ保育園幼年消防クラブ発足
昭和 60. 4.	武生市東部地区及び今立町で不審火多発
昭和 61. 6. 1	消防相互応援協定締結（対滋賀県伊香郡（組））
昭和 61. 8.22	全国消防救助技術大会出場（ロープ応用登はん、はしご登はん）
昭和 61. 9.14	無線遠隔制御装置設置（河野署、池田署、今庄署）
昭和 62.10. 1	特別救助隊編成配置
昭和 62.11.11	北日野保育所幼年消防クラブ発足
昭和 63. 3.31	救助等訓練施設設置（訓練場、訓練塔）
昭和 63. 4. 1	消防本部等機構改革（本部に通信指令室、消防署に庶務課設置） 福井県消防相互応援協定締結
平成 元. 3.20	消防緊急情報システムを導入、運用開始
平成 元.12. 4	30m級はしご付消防自動車購入、本署配備
平成 2. 4. 1	池田町自警消防隊連合会発足
平成 2. 9.30	組合設立20周年記念式典挙行
平成 2.10. 1	女性消防団員（音楽隊カラーガード隊）採用（12名）

年月日	沿革
平成 3. 3.26	職員定数条例改正（１１０名）
平成 4. 8.28	全国消防救助技術大会出場（はしご登はん）
平成 4. 9.30	職員定数条例改正（１２１名）
平成 4.10.22	消防相互応援協定締結（対岐阜県揖斐郡(組)）
平成 5. 1. 1	週休２日制完全実施
平成 5. 4. 7	「消防安全の日」（毎年３月２４日）「安全管理再点検の日」（毎月２４日）を制定
平成 5.10.13	救急救命東京研修所へ職員派遣（救急救命士養成に着手）
平成 6. 1. 3	耐震性貯水槽（１００ｔ）設置（第１号）
平成 6. 5.18	救急救命士誕生（第１号）
平成 7. 1.17	阪神淡路大震災に伴う応援出動（～1/21. 3小隊延べ２５名）
平成 7. 6.26	職員定数条例改正（１２９名）
平成 7. 9. 8	救助工作車の寄贈を受け本署に配備（寄贈者：日本損害保険協会）
平成 7. 9.27	世界体操選手権大会に伴う特別警備警戒（～10/10 カドム福井）
平成 7.12.25	危険物防災指導車の寄贈を受ける（寄贈者：南越地区危険物安全協会）
平成 8. 8.29	南越消防組合消防本部消防職員委員会に関する規則を制定（１１月１５日第１回委員会開催）
平成 8.10. 1	職員定数条例改正（１４３名） 福井県防災航空隊発足、職員１名の派遣を開始
平成 8.12.25	給水車（１０ｔ）購入、本署配備
平成 9. 1. 9	ロシア船籍「ナホトカ号」沈没に伴う重油流出事故被害調査
平成 9. 1.24 ～平成 9. 2. 9	流出重油回収作業（河野村にてボランティア活動）
平成 9. 2.24	高規格救急車(第１号)購入、本署配備
平成 9. 4. 1	広域電算財務会計システム導入 福井県防災ヘリコプター応援協定締結
平成 9. 8.22	全国消防救助技術大会出場（ロープブリッジ渡過）
平成 10. 2.13	１５ｍ級はしご付消防自動車購入（東消防署配備）
平成 10. 3. 7	自治体消防５０年記念全国消防職員綱引大会に出場（日本武道館）
平成 10. 4. 1	東消防署開庁(職員２８名、消防車３台、梯子車１台、救急車２台) 組織改革により１本部２署４分署体制となる 女性消防官を初めて採用
平成 10. 6.21	第３回全国消防音楽隊マーチングフェスティバル出場（福井市）
平成 10. 7.15	武生市の南幼稚園及び、浪花保育園他４保育園に幼年消防クラブ発足
平成 11. 2.15	救助工作車(CD-Ⅱ)購入、東消防署に配備し、普通救助隊運用開始
平成 11. 4. 1	高規格救急車(第２号)購入、東消防署配備
平成 11. 5.13	武生市の上太田保育園他１０保育園に幼年消防クラブ発足
平成 12. 2.25	救助工作車(CD-Ⅱ)購入（南消防署配備）
平成 12. 3.24	南越消防組合情報公開条例を制定
平成 12. 4. 1	南消防署開庁（職員２７名、消防車３台、救助工作車１台、救急車２台） 同署にて普通救助隊運用開始 組織改革により１本部３署２分署体制となる
平成 12. 7.25	高規格救急車(第３号)購入、南消防署配備
平成 12. 9.17	組合設立３０周年及び武生市防火委員会５０周年記念式典挙行
平成 13. 3.27	南越消防組合職員の再任用に関する条例を制定
平成 13. 4.28	第４回全国消防音楽隊マーチングフェスティバル出場（神戸市）

年月日	沿革
平成 14. 3.26	個人情報保護条例を制定
平成 14. 8.18	武生市自警消防隊連合会設立50周年記念式典挙行
平成 15. 9.29	南越消防組合職員倫理条例を制定
平成 15.10.23	第16回全国女性消防操法大会出場(武生市味真野地区女性消防隊)
平成 16. 3.30	中消防署河野分署新庁舎にて業務開始
平成 16. 7.18 ～平成 16. 7.20	「福井豪雨」に伴い救助・水防活動実施
平成 16.11. 6	福井県知事表彰(福井豪雨特別功労竿頭授)
平成 16.12.22	消防団定員条例改正(南越前消防団9ヶ分団220名)
平成 17. 1. 1	南越前町組合加入(南条町、今庄町、河野村合併) 南越前消防団設立 河野分署の所属署を、中消防署から南消防署に変更
平成 17. 4. 1	職員定数条例改正(145名) 南越前町自警消防隊連絡協議会設立(69隊・944名)
平成 17. 4.19	県内初の女性消防吏員救急救命士誕生
平成 17. 4.25	消防本部・中消防署開庁 高機能消防指令センターシステム運用開始
平成 17. 4.25	南越前町少年消防クラブ結成(4班・123名)
平成 17. 4.28	南越前町幼年消防クラブ結成(8班・220名)
平成 17. 6. 1	パソコンの1人1台体制による「消防情報ネットワーク」の運用を開始
平成 17. 9.26	南越消防組合「消防情報ネットワーク」と越前市「えちぜんゆうネット」を接続し情報の共有を図る。
平成 17.10. 1	越前市組合加入(武生市、今立町合併) 越前市消防団設立 武生市自衛消防隊連絡協議会を「越前市自衛消防隊連絡協議会」に改組(78事業所) 財務会計システム(予算編成系)導入 人事・給与システム導入
平成 17.12.12	水難救助業務開始
平成 18. 1.17	高規格救急車(第4号)購入、池田分署配備
平成 18. 4. 1	財務会計システム(執行系)導入 文書管理システム導入 消防相互応援協定締結(対滋賀県湖北地域(組)) 越前市自警消防隊連合会設立 武生市防火委員会を「越前市防火委員会」に改称
平成 18. 7.18 ～平成 18. 7.21	平成 18 年 7 月豪雨に伴い水防活動実施
平成 18.10. 1	契約管理・備品管理システム導入
平成 19. 2.19	高規格救急車(第5号)購入、河野分署配備
平成 19. 3.25 ～平成 19. 3.26	能登半島地震に伴う緊急消防援助隊派遣 (消火隊: 隊員 5 名、水槽付消防ポンプ自動車 1 台)
平成 19. 4. 1	指揮支援隊運用開始
平成 19. 4. 1	越前市防火委員会を「越前市防火・防災委員会」に改称
平成 20. 4. 1	緊急消防援助隊登録(消火隊 2 隊・救助隊 1 隊・救急隊 1 隊・後方支援隊 1 隊)
平成 20. 8.29	全国消防救助技術大会出場(はしご登はん・基本泳法)
平成 21. 2.13	災害支援車購入、中消防署配備
平成 21. 3.19	6台目となる高規格救急車を購入、中消防署配備

管内における大火の記録

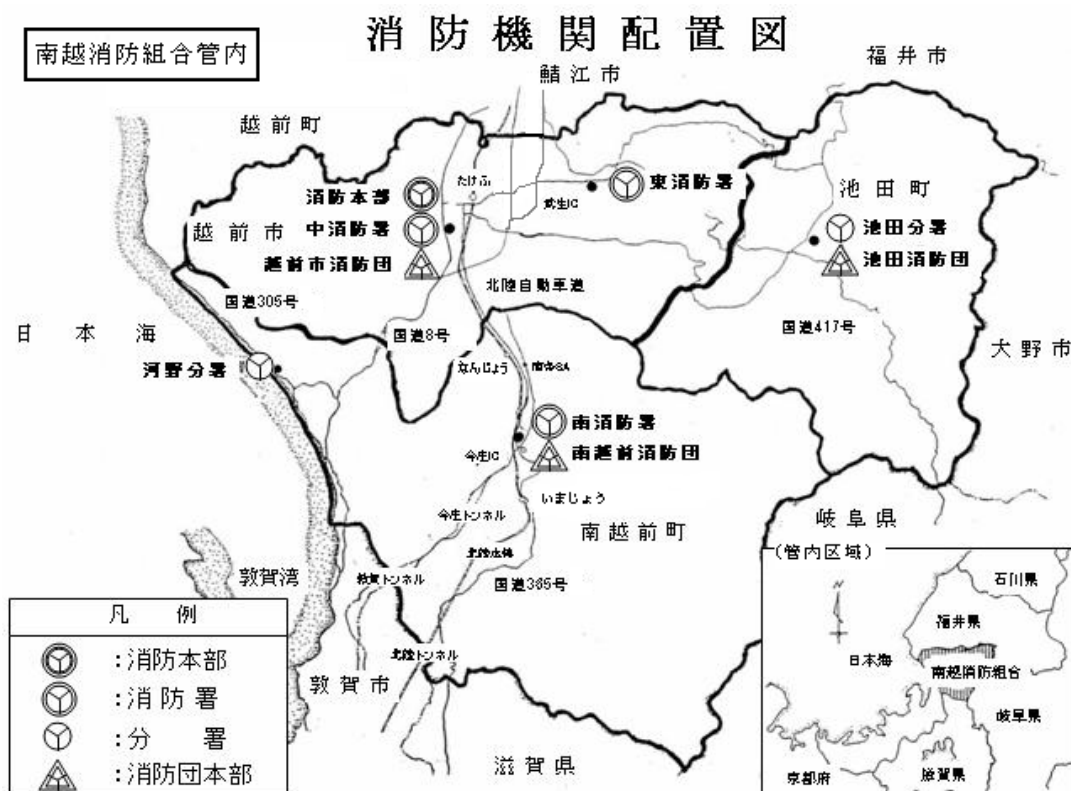
年月日		概 要
西 暦	和 暦	
1575	天正3.8.	信長が一向一揆討伐のため、竜門寺城を中心に府中一帯を焼き、僧兵700人、一般民11,500人を殺害しその住居等を焼く
1739	元文4.9.	府中町大火、100余戸焼失
1754	宝暦4.2.	府中町上町より出火、100余戸焼失
1762	宝暦12.4.17	府中町西街より出火し東へ延焼、南より出火し北へ延焼、残った所より再び出火し、1日3回の火災により殆ど全滅す (当初213戸、次回以後は藩邸家中97戸、民家1,200戸焼失)
1851	嘉永4.	南日野村脇本より出火、南の烈風に煽られ60余戸焼失
1852	嘉永5.3.23	府中町中心繁華街より出火、全町の70%(1,437戸)焼失
1867	慶応3.	南条郡南杣山村にて南東の強風に煽られ、鯖波・別所・出村・関ヶ鼻の各集落まで延焼、焼失家屋約100戸
1873	明治6.4.	今立郡栗田部村407戸、803棟全焼
1903	明治36.4.13	武生町中心部の蓬萊より出火、南東の風で焼失家屋1,057戸 延焼時間12時間、死者9名
1913	大正2.9.19	武生町の蓬萊より出火、南東の風に煽られ531戸焼失
1920	大正9.4.13	南条郡南杣山村鯖波において北陸線の汽車の煤煙にて線路付近より出火、南東の風に煽られて上別所・出村両集落まで延焼 (73戸焼失)、また、山林にも延焼
1922	大正11.4.	今立郡池田村谷口・野尻の両集落で70戸焼失
1927	昭和2.4.21	今立郡栗田部村163戸、218棟全焼、死者2名(幼児)
1927	昭和2.6.24	南条郡河野村甲楽城にて住宅143戸、非住宅99戸、寺院1全焼
1946	昭和21.4.2	今立郡池田村水海にて165戸焼失
1965	昭和40.5.20	今庄町小倉谷にて42世帯、71棟焼失
1996	平成8.4.29	今庄町古木地係にて林野火災25ha焼失
2001	平成13.4.23	今庄町大河内地係にて林野火災8ha焼失

総務関係

消防本部・署の現況

平成21年4月1日現在

区 分	現 況	所 在 地 TEL	構造 階数	建築面積 延面積(㎡)	建築等 年月日
消防本部・中消防署 (越前市防災施設併設)	消防救助 訓練施設	越前市千福町126番地 TEL 0778-21-0119(代) FAX 0778-21-0093 (災害情報サービス) 0778-22-4477 (一般情報サービス) 0778-21-8877	鉄筋コンクリート 4階建	1,479.88 4,480.97	H17.4.18 敷地面積 5,226.16㎡
			主塔鉄筋コンクリート 5階建	延 249.01	
			副塔鉄筋コンクリート 平屋建	延 43.25	
付属施設			危険物庫・ゴミ庫 駐輪場・ポンベ庫	計 4 棟 延 50.72	
東消防署		越前市西樫尾町 18-7-2 TEL0778-43-0119 FAX0778-42-0156	鉄筋コンクリート 2階建	1,026.44 1,416.79	H10.3.30
消防救助 訓練施設			主塔鉄筋コンクリート 3階建	39.20 120.10	H10.3.30
			副塔鉄骨造平屋建	24.01 40.67	
池田分署		池田町稲荷 35-2-1 TEL0778-44-8119 FAX0778-44-8109	鉄筋コンクリート 2階建	301.79 407.13	S49.3.30 増・改築 (H15.3.31)
南消防署		南越前町湯尾 14-4-2 TEL0778-45-0119 FAX0778-45-0315	鉄筋コンクリート 2階建	936.40 1,405.95	H12.3.27
消防救助 訓練施設			鉄筋コンクリート 3階建		
河野分署		南越前町今泉 18-31 TEL0778-48-3119 FAX0778-48-3109	鉄筋コンクリート 2階建	424.32 559.12	H16.4.1



消防相互応援協定

個々の消防本部だけでは対処できない大規模災害や隣接消防本部境界付近で発生した災害等の際し、その被害を最小限にとどめるため、消防組織法第39条の規定に基づき、他の消防本部との間に次のとおり消防相互応援協定を締結しています。

◆福井県広域消防相互応援協定

平成18年 4月 1日締結 福井県下9消防本部

◆福井県防災ヘリコプター応援協定

平成 9年 4月 1日締結 福井県

◆消防相互応援協定

平成 4年10月22日締結 揖斐郡消防組合（岐阜県）

平成18年 4月 1日締結 湖北地域消防組合（滋賀県）

◆高速自動車国道北陸自動車道における消防相互応援協定

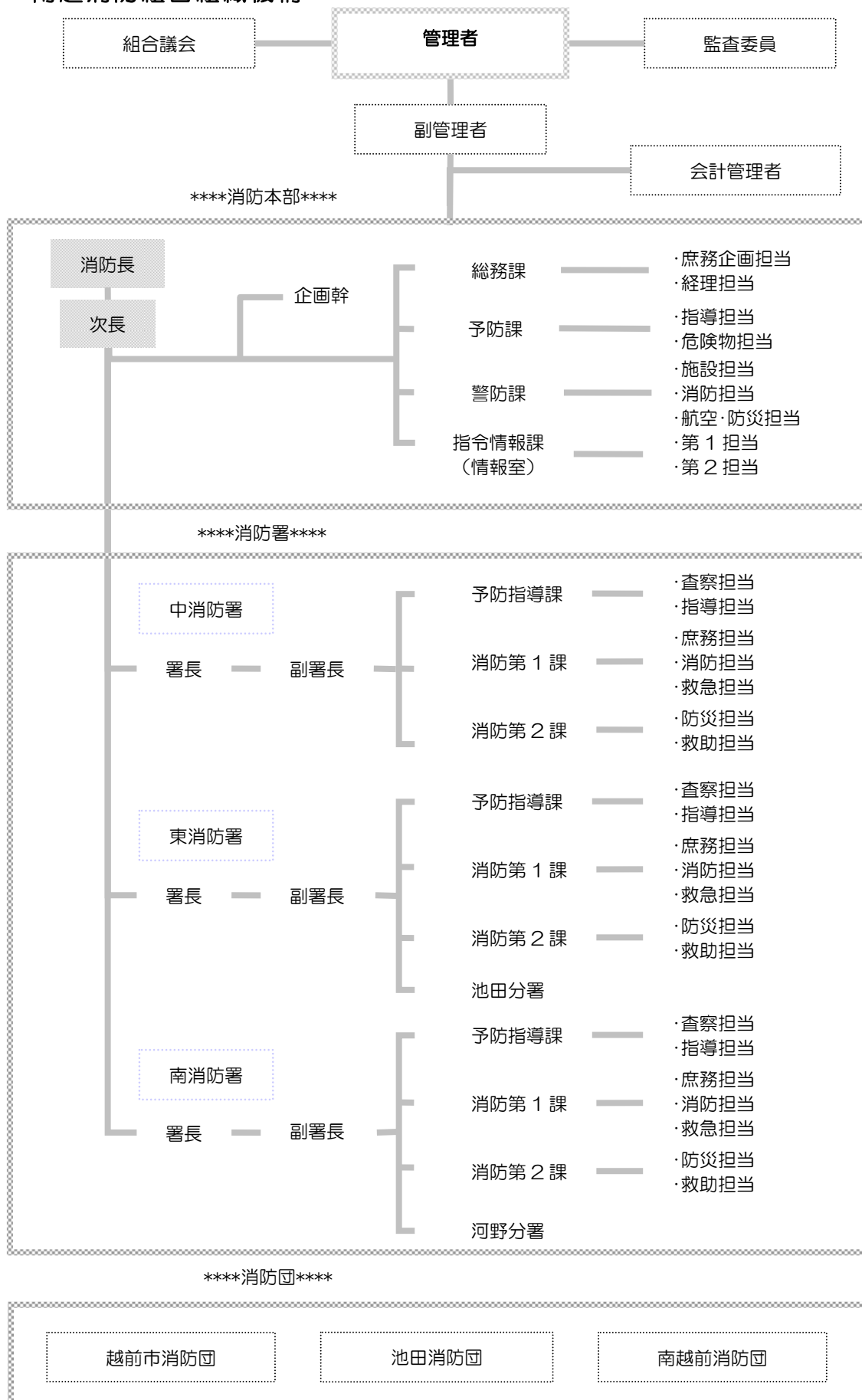
昭和51年11月 1日締結 福井地区消防組合（現・福井市消防局）

昭和52年12月 5日締結 敦賀美方消防組合

昭和58年11月15日締結 鯖江・丹生消防組合



南越消防組合組織機構



消防予算

○組合予算の歳入内訳（平成21年度）

(単位:千円)

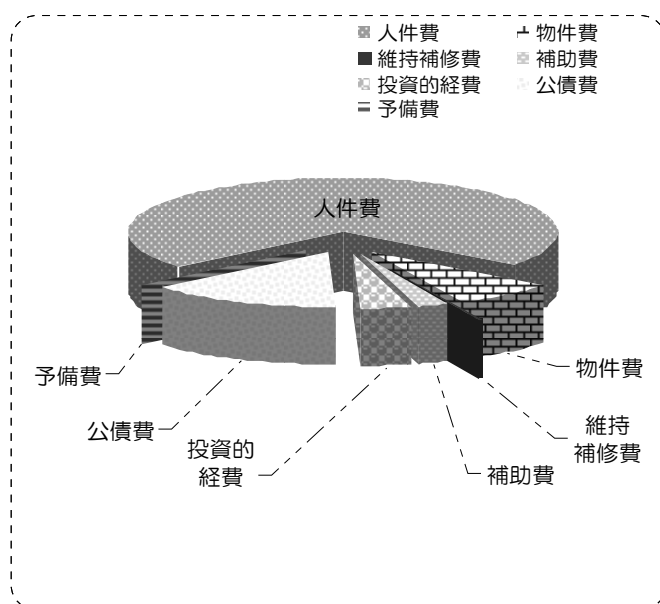
区分		本年度予算額	前年度予算額	増減額	構成比
分担金及び負担金	共通経費	1,489,998	1,498,903	△ 8,905	79.6%
	単独経費	303,950	311,045	△ 7,095	16.2%
使用料及び手数料		6,000	6,000	0	0.3%
国庫支出金		9,951	10,472	△ 521	0.5%
財産収入		1	1	0	0%
寄付金		1	1	0	0%
繰越金		1	1	0	0%
諸収入		18,231	17,379	852	1.0%
組合債		44,000	77,200	△ 33,200	2.4%
合計		1,872,133	1,921,002	△ 48,869	100.0%

○組合予算の歳出内訳（平成21年度）

(単位:千円)

区分	本年度予算額	前年度予算額	増減額	構成比
議会費	1,286	1,293	△ 7	0.1%
総務管理費	3,303	2,874	429	0.2%
監査委員費	15	15	0	0.0%
常備消防費	1,430,552	1,437,441	△ 6,889	76.4%
非常備消防費	88,886	90,764	△ 1,878	4.8%
消防施設費	77,969	110,071	△ 32,102	4.2%
水防費	900	990	△ 90	0.0%
公債費	268,522	276,854	△ 8,332	14.3%
予備費	700	700	0	0.0%
合計	1,872,133	1,921,002	△ 48,869	100.0%

歳出の性質別内訳



項目	予算額(単位:千円)	構成比
人件費	1,335,338	71.3%
物件費	147,071	7.9%
維持補修費	5,085	0.3%
補助費	43,233	2.3%
投資的経費	72,384	3.8%
公債費	268,322	14.4%
予備費	700	0.0%
合計	1,872,133	100.0%

消防職員の配置状況

平成21年4月1日現在

区分		合計	消防吏員								吏員以外の職員 計	
			消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計		
合計		145	1	15	31	39	38	9	9	142	3	3
消防本部	消防長	1	1							1		
	次長	2		2						2		
	企画幹	1									1	1
	総務課	8[2]		2	1	1[1]	2[1]			6[2]	2	2
	予防課	5		2	2		1			5		
	警防課	7		2	3	1	1			7		
	指令情報課	11		2	2	4	3			11		
	消防学校入校	3							3	3		
	小計	38[2]	1	10	8	6[1]	7[1]		3	35[2]	3	3
消防署	中消防署	消防署長	(1)	(1)						(1)		
		副署長	1	1						1		
		予防指導課	7(1)		2(1)	1	2	2		7(1)		
		消防第1課	13(1)		2(1)	5	5		1	13(1)		
		消防第2課	12(2)		2(1)	4	4(1)	1	1	12(2)		
		小計	33(5)	1(1)	6(3)	10	11(1)	3	2	33(5)		
	東消防署	消防署長	1	1						1		
		副署長	1	1						1		
		予防指導課	4(1)	(1)	1	1	2			4(1)		
		消防第1課	11		2	5	2	1	1	11		
		消防第2課	11		3	4	2	1	1	11		
		池田分署	9		2	3	3	1		9		
		小計	37(1)	2(1)	8	13	9	3	2	37(1)		
	南消防署	消防署長	1	1						1		
		副署長	1	1						1		
		予防指導課	4(1)	(1)	1	1	1	1		4(1)		
		消防第1課	11		3	3	3	1	1	11		
		消防第2課	11		3	3	3	1	1	11		
		河野分署	9		2	3	4			9		
		小計	37(1)	2(1)	9	10	11	3	2	37(1)		

※ () は兼任、[] は派遣

消防職員の勤続年数

平成21年4月1日現在

区分	合計	消防吏員							吏員以外の職員	在職別構成比(%)
		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
合計	145	1	15	31	39	38	9	9	3	
1年未満	6							4	2	4.1
1年以上2年未満	3							3		2.1
2年以上3年未満	2						2			1.4
3年以上4年未満	2						1	1		1.4
4年以上5年未満	6						5	1		4.1
5年以上6年未満										
6年以上7年未満										
7年以上8年未満										
8年以上9年未満	3					3				2.1
9年以上10年未満	4					4				2.7
10年以上11年未満	5					5				3.4
11年以上12年未満	5					5				3.4
12年以上13年未満	4					4				2.7
13年以上14年未満	6				2	4				4.1
14年以上15年未満	4				2	2				2.7
15年以上16年未満	7				2	4	1			4.8
16年以上17年未満	6				4	2				4.1
17年以上18年未満	4				4					2.7
18年以上19年未満	3				3					2.1
19年以上20年未満	3				2	1				2.1
20年以上21年未満	3				3					2.1
21年以上22年未満	5			2	2	1				3.4
22年以上23年未満	1				1					0.7
23年以上24年未満	3				3					2.1
24年以上25年未満										
25年以上26年未満										
26年以上27年未満										
27年以上28年未満										
28年以上29年未満	8			5	3					5.5
29年以上30年未満	4			3					1	2.7
30年以上31年未満	4			3	1					2.7
31年以上32年未満	3		1	2						2.1
32年以上33年未満	8		2	4	1	1				5.5
33年以上34年未満	1				1					0.7
34年以上35年未満	4			4						2.7
35年以上36年未満	1			1						0.7
36年以上37年未満	10		5	4	1					6.9
37年以上	17	1	7	3	4	2				11.7

職員平均勤続年数20.9年

消防職員の年齢区分

平成21年4月1日現在

区分	合計	消防吏員							吏員 以外の 職員	在職別 構成比 (%)
		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
合計	145	1	15	31	39	38	9	9	3	
18歳未満										
18歳～19歳										
19歳～20歳										
20歳～21歳	3							3		2.1
21歳～22歳										
22歳～23歳	2							2		1.4
23歳～24歳	3							3		2.1
24歳～25歳	2						2			1.4
25歳～26歳	2						1	1		1.4
26歳～27歳	2						2			1.4
27歳～28歳	1						1			0.7
28歳～29歳										
29歳～30歳	3					1	2			2.1
30歳～31歳	1					1				0.7
31歳～32歳	7					7				4.8
32歳～33歳	4					4				2.7
33歳～34歳	7				1	6				4.8
34歳～35歳	9				2	6			1	6.2
35歳～36歳	7				4	3				4.8
36歳～37歳	5				1	3	1			3.4
37歳～38歳	6				6					4.1
38歳～39歳	3				2	1				2.1
39歳～40歳	4				2	2				2.7
40歳～41歳	2				1	1				1.4
41歳～42歳	3				3					2.1
42歳～43歳	1				1					0.7
43歳～44歳	2				2					1.4
44歳～45歳	2			2						1.4
45歳～46歳	2				2					1.4
46歳～47歳	8			5	3					5.5
47歳～48歳	3			2	1					2.1
48歳～49歳	4			3	1					2.7
49歳～50歳	3			2					1	2.1
50歳～51歳	4			3		1				2.7
51歳～52歳	2			1	1					1.4
52歳～53歳	4			4						2.7
53歳～54歳	2		1		1					1.4
54歳～55歳	4		1	2					1	2.7
55歳～56歳	9			5	3	1				6.2
56歳～57歳	11		6	2	2	1				7.6
57歳～58歳	2		2							1.4
58歳～59歳	4	1	3							2.7
59歳～60歳	2		2							1.4
60歳以上										

職員平均年齢41.6歳

消防職員の各種資格取得状況

平成21年4月1日現在

資格種別 階級別等			消防吏員							吏員以外の職員	計
			消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
車両関係	運転免許	大型特殊		1	8	9	11				29
		大型1種		6	19	29	31	2	1		88
		普通1種	1	15	29	40	40	7	10	3	145
		普通2種		2		1					3
		自動二輪	1	5	13	22	8		4	2	55
		牽引				1	1				2
	車両系建設機械				2	3	1				6
予防関係	危険物取扱者乙種			11	27	17	5	6	9	1	76
	危険物取扱者丙種				3	4	3				10
	消防設備士甲種			2	2						4
	消防設備士乙種			1	10	4			1		16
	映写技術者				2	1					3
	測量士補				2	2					4
	建築士(2級)		1	2	2						5
	火薬類取扱保安責任者				1	1					2
	火薬類取扱責任者			1							1
	高圧ガス製造保安責任者				1						1
	毒劇物取扱責任者					1					1
警防関係	救急救命士			2	4	12	6				24
	応急手当指導員			3	27	27	19	1	1		78
	救急Ⅱ課程			6	21	13	3				43
	救急科			1	3	24	23	1			52
	潜水士			2	8	13	13	2	1		39
	水上安全救助員				3	3	9	3	1		19
	3級ダイバー			1	4	4					9
	JVDFスポーツダイバー				2	7	6		1		16
	陸上特殊無線技士		1	3	7	12	4		1		28
	航空特殊無線技士				3	4					7
	ガス溶接技能者		1	5	8	7	3				24
	アーク溶接技能者				3	7	7	1			18
	クレーン運転士				1	1					2
	吊り下げ荷重5t未満クレーン運転士			1	1	1	1			1	5
	小型移動式クレーン運転技能者			3	9	21	16	2			51
	玉掛技能者			4	11	21	18		1		55
	酸素欠乏・硫化水素作業主任者			5	14	10	7	1			37
	特殊化学物質等作業主任者				4	4	1				9
	2級小型船舶操縦士			1	3	5	4				13
	フォークリフト運転技能者				6	12	8	1	1		28
その他	衛生管理者(第1種)				1	1				1	3
	安全衛生推進者		1	9	3						13
	ボイラー技士(2級)			1	3						4
	アマチュア無線技士		1	1	2	4					8
	電気工事士					1					1
	床上操作式クレーン運転技能者					1			1		2
	ヘリコプタープライベートパイロットライセンス				1						1

消防音楽隊

消防音楽隊は、昭和50年6月に結成されて以来、消防職・団員の士気高揚を図るとともに、消防の諸行事、式典をはじめ、管内の各種行事等に出場し、演奏活動を通じて広く住民と接することにより、防火思想の普及啓発に努めています。

また、平成2年10月からは、女性消防団員としての身分を有するカラーガード隊を編成し、より効果的な広報活動を展開しています。

○階級・年齢別隊員構成

平成21年4月1日現在

区分	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
20歳未満						
20歳～24歳					4	4
25歳～29歳				1	1	2
30歳～34歳			11	1		12
35歳～39歳		6				6
40歳以上						
計		6	11	2	5	24

(日勤者0名、隔日勤務者24名)

○楽器編成

平成21年4月1日現在

楽器名	数	楽器名	数	楽器名	数
ドラムメジャー	1	マーチングメロフォン	3	バスドラム	1
トランペット	3	グロッケン	1	スネアドラム(ドラムセット)	1
テナーサックス	2	マーチングチューバ	2	キーボード	1
アルトサックス	2	クォード	1		
トロンボーン	4	ソプラノサックス	1		

○活動状況(平成20年中)

活動区分	訓練等	派遣演奏等				計
		消防関係	市町関係	その他	小計	
活動数	25	8	6	4	18	43



予防関係

防火対象物の現況

平成21年4月1日現在

防火対象物の区分			防火管理者 選任義務 事業所数	防火対象物 の棟数	左記のうち中高層建築物数（階別）							
					3	4	5	6	7	8	9	計
1項	イ	劇場・映画館等	2	2								0
	ロ	公会堂・集会場	177	187	7	1	1					9
2項	ロ	遊技場・ダンスホール	17	17								
	ニ	カラオケボックス等	1	1								0
3項	イ	待合・料理店等	37	37	9	1	1					11
	ロ	飲食店	62	69	8	3						11
4項		百貨店・マーケット等	130	172	16	8	3	2				29
5項	イ	旅館・ホテル等	34	65	13	1	5	2				21
	ロ	寄宿舍・共同住宅等	60	411	88	45	30	2	1	1		167
6項	イ	病院・診療所等	31	57	13	7	2	3	1			26
	ロ	児童福祉施設等	91	105	2	2	3			2		9
	ハ	幼稚園等	16	20								0
7項		小・中・校・大学等	45	134	61	7						68
8項		図書館・博物館等	10	18	1							1
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1	1	1							1
	ロ	その他の公衆浴場	10	10								0
10項		車両の停車場等	2	3	1							1
11項		神社・寺院等	55	183	3							3
12項	イ	工場・作業場等	85	966	59	10	2	1	4			76
13項	イ	自動車車庫等	0	39								0
14項		倉庫	4	432	30	4	2					36
15項		前各項に該当しない事業所	67	419	65	21	4	3				93
16項	イ	特定用途を含む 複合防火対象物	189	387	151	22	10	1	2		1	187
	ロ	上記以外の 複合用途対象物	29	142	46	9						55
17項		重要文化財等	0	5								0
18項		延長50m以上の アーケード	0	4								0
計			1,155	3,886	574	141	63	14	8	3	1	804

消防用設備等の設置状況

平成21年4月1日現在

消防用設備等 区分		消火設備									警報設備				避難設備		その他			防火安全性能を有する設備	
		屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	水噴霧消火設備	ハロゲン化物消火設備	不活性ガス消火設備	泡消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	火災通報装置	非常警報設備	漏電火災警報器	避難器具	誘導灯	消防用水	連結送水管	排煙設備	パッケージ型自動消火設備	パッケージ型消火設備
1項	イ	1	1					1			2		2		1	3					
	ロ	13	1	2			1	2			69	35	69		10	26			1		2
2項	ロ	3						1			15	7	10		3	15					
	ニ										1					1					
3項	イ	1		1				2			26	4	1		12	35					
	ロ	2									18	5	21	1	12	48					
4項		13	8	2				4	3		118	55	28		9	144	2	2	2		1
5項	イ	2							1		43	33	8	2	11	59					
	ロ	4									67	71	31		83	14		3			
6項	イ	10	5	1			2	1			43	35	5	2	17	45		2		1	
	ロ	10	17	1				3			101	73	11	3	22	87		2		1	4
	ハ	1	1								16	9	1		1	6	1	1			
7項		77	1						1		110	49	29		40	20	1				1
8項		2									9	3	1			3					
9項	イ																				
	ロ							1			3	1	1								1
10項											2				1						
11項		2									12	10	17		2	5					
12項	イ	209	1	9	3	2	4	36	12	11	515	385			6	82	5	6			5
13項	イ			3		1		1			6										
14項		56	1	2				10	2	5	184	48	2			44		1			3
15項		23		5	4	1		3			107	49	23		14	43	1				
16項	イ	16	4				1	1			136	101	56	2	36	247	1	5			1
	ロ	2		3				5			17	5	2		4	12			1		
17項											5										
計		447	40	29	7	4	8	71	19	16	1625	978	318	10	284	939	11	22	4	2	18

(単位：件)

消防法・火災予防条例に基づく各種届出状況

平成20年度中

種 別	市町別	計	越 前 市	池田町	南越前町
防火管理者選任（解任）届		110	86	10	14
消防計画作成（変更）届		140	109	13	18
防火対象物点検結果報告書 （特例認定申請を含む）		61	47	0	14
消防用設備等着工届		77	70	1	6
消防用設備等設置届		88	68	3	17
消防用設備等点検結果報告		723	464	70	189
液化石油ガス等貯蔵・取扱届		11	10	0	1
液化石油ガス設備工事届		2	2	0	0
毒・劇物貯蔵等届		1	1	0	0
防火対象物使用開始届		96	82	3	11
火を使用する設備等の設置届出		26	24	0	2
発電・変電・蓄電池設備設置		39	35	1	3
ネオン管灯設備設置届		0	0	0	0
水素ガスを充てんする気球の設置届		8	8	0	0
火災とまぎらわしい行為の届		70	53	13	4
煙火打上げ・仕掛け届		48	43	4	1
催物開催届		36	36	0	0
水道用排水路断水届		5	4	1	0
道路占有・工事等届		238	222	7	9
少量危険物等貯蔵取扱い届		53	49	0	4
少量危険物タンク検査申請		18	18	0	0
禁止行為の解除承認申請		7	7	0	0
消防設備業届		3	3	0	0
計		1860	1441	126	293

（単位：件）

危険物施設の設置状況

平成21年4月1日現在

区 分		市町別	越前市	池田町	南越前町	計	施設の増減 (昨年同期と比較)
製造所			15			15	2
貯蔵所	屋内貯蔵所		68		9	77	1
	屋外タンク貯蔵所		123		2	125	△ 1
	屋内タンク貯蔵所		13		2	15	△ 1
	地下タンク貯蔵所		130	14	37	181	△ 3
	簡易タンク貯蔵所		2			2	0
	移動タンク貯蔵所		60		10	70	5
	屋外貯蔵所		11		5	16	0
	小計		407	14	65	486	1
取扱所	給油取扱所		64	5	12	81	△ 2
	販売取扱所		2			2	0
	移送取扱所						0
	一般取扱所		74	2	2	78	△ 4
	小計		140	7	14	161	△ 6
計			562	21	79	662	△ 3

(単位：件)

危険物関係各種事務処理状況

平成20年度中

区 分 種 別	製造所	貯蔵所							取扱所				その他	計
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所		
設置許可	1	2					2					1		6
変更許可	10		21		3		10		16			53		113
完成検査（設置）	2	2	2				3					1		10
完成検査（変更）	9		17		3		6		18			61		114
完成検査前検査	1													1
仮使用	8		9		1				16			56		90
仮貯蔵・仮取扱													4	4
制定認可									1					1
変更認可									6					6
種類・数量変更届	1	10					1							12
譲渡引渡届		1				1	9	2	1					14
廃止届		1	3		3		2		2			5		16
保安監督者選解任届	5	11	25		2	1		1	17			13		75
立入検査実施状況	11	5	21	1	16		76		27			63		220
計	48	32	98	1	28	2	109	3	104	0	0	253	4	682

（単位：件）

建築物同意状況

平成20年中

防火対象物等の区分			新築	増築	改築	用途 変更	模様替	計画 通知	計
1項	イ	劇場・映画館等							0
	ロ	公会堂・集会場	1	1					2
2項	ロ	遊技場・ダンスホール							0
3項	イ	待合・料理店							0
	ロ	飲食店	2						2
4項		百貨店・マーケット等	8	6					14
5項	イ	旅館・ホテル等							0
	ロ	寄宿舍・共同住宅等	12	2					14
6項	イ	病院・診療所等							0
	ロ	児童福祉施設等	4	3		3			10
	ハ	幼稚園等							0
7項		小・中・高・大学等		2					2
8項		図書館・博物館等							0
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等							0
	ロ	その他の公衆浴場							0
10項		車両の停車場等							0
11項		神社・寺院等	4	3					7
12項	イ	工場・作業場等	8	15		1			24
13項	イ	自動車車庫等	5	4					9
14項		倉庫	3	5		1			9
15項		前各号に該当しない事業場	5	6	1			1	13
16項	イ	特定用途を含む複合用途防火対象物	4						4
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	3	1					4
専用住宅			24	5					29
その他			11	4					15
計			94	57	1	5	0	1	158
工作物									0

(単位：件)

消防関係各種講習会等の状況

平成20年中

内 容		地区住民			防火対象物			合計
		住民	自警消防隊 消防団	独居老人	事業所等	幼稚園 保育園	高等学校 小・中学校	
防火講習	回数	30	5		18	11	15	79
	人数	653	71		596	437	760	2,517
訓練指導	回数	4	3		3	1		11
	人数	81	57		384	77		599
避難訓練	回数				74	26	36	136
	人数				3,622	2,634	9,930	16,186
上級救命講習	回数							0
	人数							0
普通救命講習 Ⅰ	回数	17			34		5	56
	人数	296			751		83	1,130
普通救命講習 Ⅱ	回数							0
	人数							0
その他の 救急講習	回数	52	3		38	9	33	135
	人数	1,839	72		1,024	345	1,209	4,489
防火査察	世帯(件)	2,365		382	240	6	6	2,999

※上記のほかに、各種イベントに併せて防火展の開催及び火災予防運動期間中に防火パレードを実施。
また、市町広報紙を活用しての防火広報を実施。

(単位：回数⇒回 人数⇒人)

警防關係

火災出場状況

平成20年中

区分		月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
件数(件)			5	1	2	4	1	4	3	4	2	1	6	2	35
出場車両等「台」	消防署		23	5	15	19	5	28	14	27	13	6	28	13	196
	消防団		7	1	6	5	1	5	4	6	5	0	8	8	56
	自警隊 自衛隊		9	1	5	7	0	3	8	8	3	1	6	4	55
	「署」 応援出動等	応援													0
		受援	1								1		1	1	4
	計		40	7	26	31	6	36	26	41	22	7	43	26	311
出場人員「人」	消防署		77	23	56	68	19	100	52	97	45	22	103	50	712
	消防団		72	6	58	48	11	29	33	52	76	6	72	84	547
	自警隊 自衛隊		47	0	30	49	0	21	48	45	14	5	17	44	320
	「署」 応援出動等	応援													0
		受援	3								3		3	3	12
	計		199	29	144	165	30	150	133	194	138	33	195	181	1591
一件当り平均	車両等 (台)		8.0	7.0	13.0	7.8	6.0	9.0	8.7	10.3	11.0	7.0	7.2	13.0	8.9
	人員 (人)		39.8	29.0	72.0	41.3	30.0	37.5	44.3	48.5	69.0	33.0	32.5	90.5	45.5

消防車両等配置状況

平成21年4月1日現在

所属		車両名	車種	社名	初年度登録	排気量(cc)
消防ポンプ自動車	中消防署	南越1号車	A-2級CD-1型 (四駆)	日野	H21.03.10	4,000
		南越2号車	A-2級CD-1型 (四駆)	いすゞ	H07.12.19	4,570
		南越水槽1号車	A-2級水1-A型	いすゞ	H06.12.22	7,120
		南越水槽2号車	10t積水B-3級ポンプ積載	いすゞ	H08.12.24	9,830
		南越化学1号車	A-2級化学車Ⅱ型	いすゞ	H09.02.07	8,220
		南越梯子1号車	30m級梯子車	日野	H01.11.27	9,410
		南越救助1号車	救助工作車Ⅱ型(四駆)	日野	H07.08.28	7,410
	東消防署	南越3号車	A-2級CD-1型 (四駆)	三菱	H06.01.26	3,560
		南越救助2号車	A-2級CD-Ⅱ型 (四駆)	いすゞ	H11.03.04	8,220
		南越化学2号車	A-2級化学車Ⅱ型	日野	H04.11.20	7,410
		南越梯子2号車	15mA-2級梯子車	日野	H10.02.04	7,960
	池田分署	南越4号車	A-2級CD-1型 (四駆)	いすゞ	H07.12.19	4,570
		南越水槽3号車	A-2級水1-A型	日産	H19.02.26	6,400
	南消防署	南越5号車	A-2級CD-1型 (四駆)	いすゞ	H09.03.17	4,570
		南越7号車	A-2級BD-1型 (四駆)	トヨタ	H01.11.02	3,950
		南越水槽4号車	A-2級水1-A型	日野	H03.11.15	7,410
		南越救助3号車	A-2級CD-Ⅱ型 (四駆)	いすゞ	H12.02.23	8,220
	河野分署	南越6号車	A-2級CD-1型 (四駆)	いすゞ	H06.12.20	4,330
		南越水槽5号車	A-2級水1-A型	日野	H18.02.24	6,400
小型動力ポンプ	中消防署	中署小型 1	C-1級	シバウラ	H3製	13馬力
		中署小型 2	C-1級	シバウラ	H12製	15馬力
		中署小型 3	B-3級	トーハツ	H8製	53馬力
		林野火災用ポンプ	ポンプエンジンセット	ラビット	H14製	8馬力
		林野火災用ポンプ	ポンプエンジンセット	ラビット	H17製	8馬力
	東消防署	東署小型 1	C-1級	シバウラ	S63製	13馬力
		林野火災用ポンプ	ポンプエンジンセット	キンパイ	H5製	7馬力
		林野火災用ポンプ	ポンプエンジンセット	キンパイ	H10製	7馬力
	池田分署	池田小型 1	C-1級	トーハツ	H9製	15馬力
		林野火災用ポンプ	ポンプエンジンセット	トーハツ	H18製	8馬力
	南消防署	南署小型 1	C-1級	シバウラ	H13製	15馬力
		南署小型 2	C-1級	ラビット	H7製	15馬力
		南署小型 3	D-1級	トーハツ	S62製	5馬力
		林野火災用ポンプ	ポンプエンジンセット	キンパイ	H6製	7馬力
		林野火災用ポンプ	ポンプエンジンセット	ラビット	H17製	8馬力
	河野分署	河野小型 1	C-1級	シバウラ	H8製	15馬力
		林野火災用ポンプ	ポンプエンジンセット	ホンダ	H4製	7馬力
救急車	中消防署	南越救急1号車	高規格救急車 (四駆)	トヨタ	H12.03.29	3,370
		南越救急2号車	高規格救急車 (四駆)	トヨタ	H21.03.18	2,690
	東消防署	南越救急3号車	高規格救急車 (四駆)	トヨタ	H11.02.26	3,370
		南越救急4号車	2B型 (四駆)	トヨタ	H17.02.17	3,370
	池田分署	南越救急5号車	高規格救急車 (四駆)	トヨタ	H18.01.16	3,370
	南消防署	南越救急6号車	高規格救急車 (四駆)	トヨタ	H12.07.19	3,370
		南越救急7号車	2B型 (四駆)	ニッサン	H10.03.17	3,150
	河野分署	南越救急8号車	高規格救急車 (四駆)	トヨタ	H19.02.16	2,690
指令車・支援車・広報車・搬送車		南越指令1号車	小型車 (四駆)	三菱	H20.02.20	2,970
		南越指令2号車	小型車 (四駆)	トヨタ	H09.11.14	4,160
		南越支援1号車	支援車Ⅲ型(マイクロバス)	三菱	H21.02.12	4,890
		南越広報1号車	小型車 (バン)	トヨタ	H10.08.28	2,770
		南越広報2号車	小型車 (乗用)	トヨタ	H06.05.29	2,990
		南越広報3号車	小型車 (バン)	トヨタ	H07.12.22	1,970
		南越広報4号車	軽自動車 (バン)	ダイハツ	H14.08.28	650
		南越広報5号車	軽自動車 (バン)	ダイハツ	H18.07.19	650
		南越広報6号車	小型車 (四駆)	トヨタ	H07.10.06	4,160
		南越搬送2号車	作業車 (トラック)	トヨタ	H09.11.13	2,770
		南越搬送3号車	作業車 (トラック)	ダイハツ	H15.09.30	650
	東消防署	南越指令3号車	小型車 (四駆)	トヨタ	H19.09.26	2,690
		南越搬送4号車	作業車 (トラック)	トヨタ	H19.07.12	2,980
	池田分署	南越指令4号車	小型車 (四駆)	三菱	H14.08.29	2,970
	南消防署	南越指令5号車	小型車 (四駆)	トヨタ	H15.08.29	2,690
		南越搬送5号車	作業車 (トラック)	トヨタ	H10.06.23	2,770
	河野分署	南越指令6号車	小型車 (四駆)	トヨタ	H08.09.18	4,160

特殊機械器具の状況

平成21年4月1日現在

区分		署所別		計		配置状況 / () は非常備											
						中消防署		東消防署		池田分署		南消防署		河野分署			
消火薬剤等	粉末消火器（20型）	23		8		5		3		4		3					
	化学消火薬剤（㍑）	3,190		1,400		1,300		130		240		120					
	流出油処理剤（㍑）	485		153		138		36		108		50					
	高膨張泡発生機	8		2		2		1		2		1					
	背負式水のう	91	(152)	28	(11)	17	(16)	12	(33)	19	(70)	15	(22)				
救助用機材等	バスケット担架	8		3		1		1		2		1					
	三連梯子	11		4		2		1		3		1					
	フォグガン	15		6		4		1		3		1					
	排煙送風機	1		1													
	救命索発射銃	6		3		1				1		1					
	救命胴衣	130	(679)	60	(350)	25	(87)	8	(54)	29	(137)	8	(51)				
	救命ボート	6		2		1		1		1		1					
	船外機	1		1													
	空気式救助マット	4		2		1				1							
	マット型空気ジャッキ	3		1		1				1							
	空気鋸	3		1		1				1							
	ガス溶断機	2		2													
	チェーンソー	6	(10)	4		1			(4)	1	(4)		(2)				
	エンジンカッター	6		1		2		1		1		1					
	削岩機	2		2													
	携帯コンクリート破壊器具	3		1		1				1							
	万能斧	22		10		5		2		4		1					
	大型油圧救助器具セット	4		2		1				1							
	酸素（循環式）呼吸器	11		4		3				4							
	空気呼吸器	69		25		16		8		12		8					
	発電機付投光器	12	(14)	3	(2)	3	(1)	1	(5)	4	(4)	1	(2)				
	放射線測定器	3		2								1					
	可燃性ガス・酸素濃度測定器	9		3		2		1		2		1					
	ポケット線量計	50		15		10		5		10		10					
	携帯警報器	15		5		5				5							
	R I 防護服（耐熱服）	10		6		2				2							
	耐電衣	2		2													
	潜水具	9		9													
	耐熱服	5		3		2											
	防毒衣	12		12													
	携帯用拡声器	20	(36)	6	(12)	6	(2)	1	(6)	5	(15)	2	(1)				
	簡易画像探査機	1		1													
	ショートボード	7		2		2		1		1		1					
救急器材等	患者監視モニター	8		2		2		1		2		1					
	除細動器	8		2		2		1		2		1					
	輸液ポンプ	5		1		1		1		1		1					
	ショックパンツ（大小）	5		1		1		1		1		1					
	心電図等伝送装置	7		1		2		1		2		1					
	携帯用人工蘇生器	4		1		1		1		0		1					
	車載用人工蘇生器	8		2		2		1		2		1					
	吸引器	8		2		2		1		2		1					
	バックボード	8		2		2		1		2		1					
	ショートボード	3		1		1				1							
スクープストレッチャー	8		2		2		1		2		1						

消防水利の状況

平成21年4月1日現在

地域別		区分	消火栓					防火水槽			プール	池濠	河川
			地上式		地下式		計	40m ³ 以上	20m ³ ～40m ³	計			
			単口	双口	単口	双口							
越前市	東	16	7	84	15	122	17	4	21	1		1	
	西	58	7	124	6	195	28	2	30	1		2	
	南	109	6	98	5	218	25	2	27	2		1	
	神山	77		47		124	10		10	1	1	1	
	吉野	100		110		210	22	1	23	2	2	1	
	国高	99	5	164	4	272	23	1	24	3	2	1	
	大虫	88		77		165	19	1	20	1	3	1	
	坂口	3		34		37	12	1	13			1	
	王子保	95	1	108	2	206	33	2	35	1		3	
	北新庄	42	2	35		79	12		12	1	1	2	
	北日野	105		78	1	184	27	1	28	1		2	
	味真野	124		54		178	42	1	43	1	1	2	
	白山	69		36		105	26	1	27	1		2	
	粟田部	6		112		118	20	2	22	1		1	
	岡本	2		151		153	35	6	41	1	1	2	
	南中山			125		125	38	3	41	2	1		
	服間			97		97	42	3	45	1		2	
	計	993	28	1534	33	2,588	431	31	462	21	12	25	
	池田町	角間郷	50				50	11		11	1	1	2
		中	84				84	23	1	24	1		3
下		68				68	14		14			2	
下池田		12				12	4		4			4	
計		214	0	0	0	214	52	1	53	2	1	11	
南越前町	南日野	123		5		128	23	1	24		2	3	
	南杣山	74				74	18		18		1	3	
	北杣山	101		1		102	23	1	24	1		3	
	湯尾	99		1		100	18	3	21	1		2	
	宅良	81				81	24		24			2	
	今庄	85		8		93	16	1	17	1		3	
	鹿蒜	43		1		44	8		8			2	
	堺	92		1		93	20	1	21	1	1	4	
	糠	3		27		30	10		10		1	1	
	甲楽城～河野	3	1	52		56	16		16	1		1	
	桜橋	5		32		37	15	1	16			1	
	計	709	1	128	0	838	191	8	199	5	5	25	
合計		1,916	29	1,662	33	3,640	674	40	714	28	18	61	

(単位：カ所)

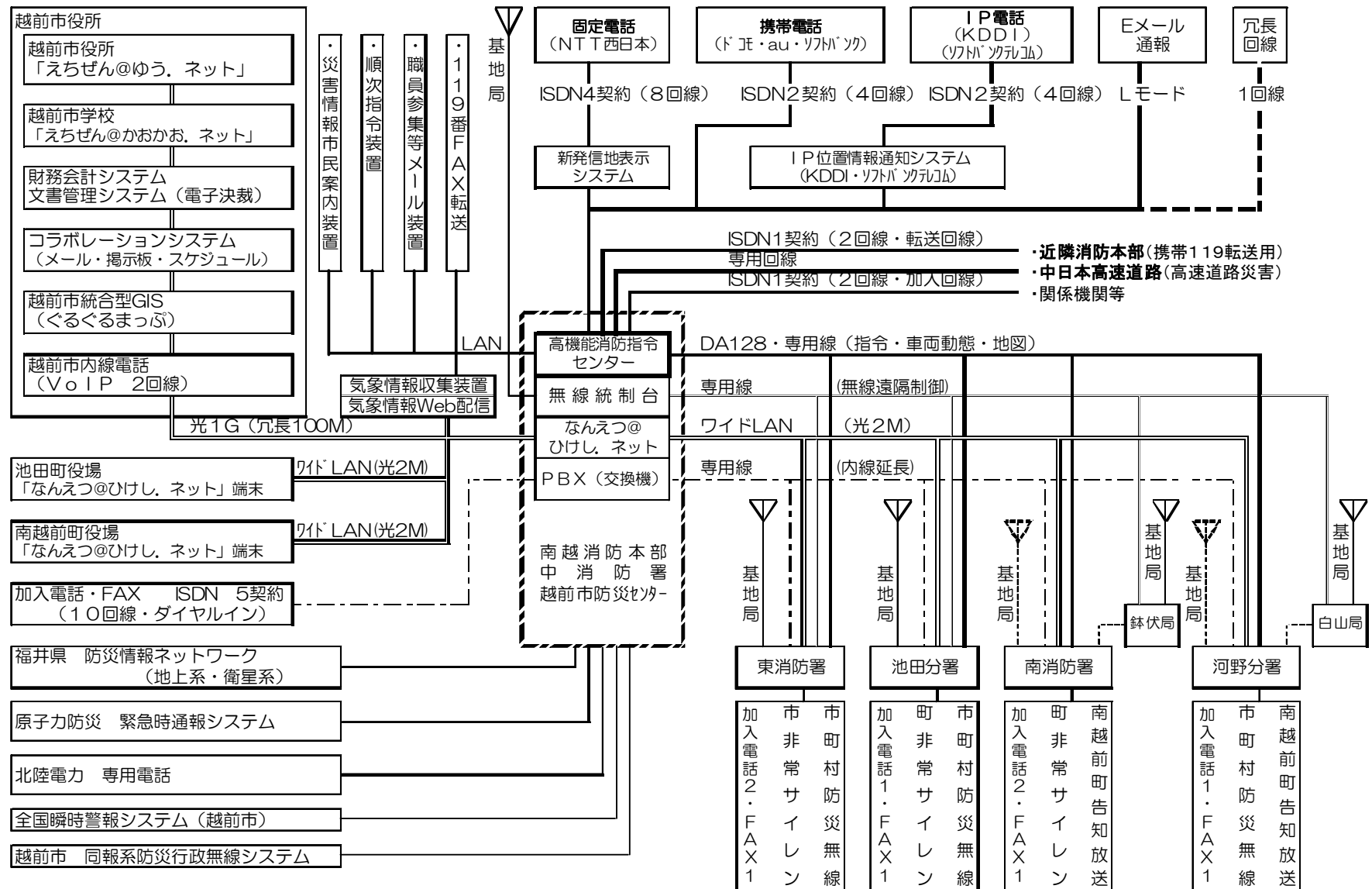
水防資器材の状況

平成21年4月1日現在

品名	区分	数量	配 置		
			越前市	池田町	南越前町
麻袋		2,110	800	630	680
化繊袋 大		1,870	800	870	200
化繊袋 小		26,830	18,530	4,100	4,200
縄		108	64	23	21
タタミ		18	18	0	0
杉丸太 3間以上		106	89	0	17
杉丸太 2～3間		396	320	36	40
杉丸太 1.5～2間		342	215	96	31
杉丸太 1～1.5間		760	632	96	32
鉄線 14番		200	200	0	0
鉄線 12番		690	600	50	40
鉄線 10番		1,365	800	325	240
鉄線 8番		1,580	1,500	0	80
スコップ		349	191	45	113
掛矢		51	14	8	29
唐鍬		70	33	14	23
ガメ鍬		33	4	13	16
ミツ鍬		18	13	0	5
ツルハシ		52	29	10	13
バチツル		37	6	5	26
斧		27	18	0	9
カマ		163	107	26	30
ノコ		87	37	13	37
大・小ハンマー		63	39	16	8
ペンチ		34	11	14	9
ナタ		64	28	27	9
シノ		153	86	30	37
鉄線カッター		48	26	9	13
一輪車		45	20	8	17
カスガイ		211	144	49	18
杭（鉄）		240(990)	164(573)	(197)	81(63)

通信関係

通信施設系統図



消防通信施設の状況

平成21年4月1日現在

施設区分			各署	計	消防本部 中消防署	東消防署	池田分署	南消防署	河野分署	
消防無線	基地局			7	1	1	1	2	2	
	固定局 (サイレン制御用)			7		7				
	無線統制台 (遠隔制御装置)			1	1					
				(5)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
	移動	車載	消防署	44	20	8	4	8	4	
			AVM	33	11	7	4	7	4	
			消防団	41	13	11	5	10	2	
		携帯無線 (400MHZ)		52	23	11	3	11	4	
				(7)	(2)	(2)		(2)	(1)	
	福井県防災情報ネット ワーク(地上・衛星)			1	1					
有線・ 携帯電話等	高機能消防指令センター (Ⅱ型)			1	1					
	火災報知専用電話119番 契約数(回線数)			4(8)	4(8)					
	携帯119番 契約数(回線数)			2(4)	2(4)					
	IP等119番 契約数(回線数)			2(4)	2(4)					
	聴覚障害者用 FAX・メール			1	1					
	非常用回線(冗長用)			1	1					
	119番転送回線 契約数(回線数)			1(2)	1(2)					
	新発信地表示システム			1	1					
	PBX(交換機)			3	1	1		1		
	一般加入電話 契約数(回線数)			12(22)	6(12)	2(3)	1(2)	2(3)	1(2)	
	庁内電話			98	66	15	1	15	1	
	携帯電話(衛星含む)			8	4	1	1	1	1	
	救急車用携帯電話			8	2	2	1	2	1	
	テレホンサービス (回線数)			2(10)	2(10)					
	ファックス			7	3	1	1	1	1	
	原子力防災 緊急時通報システム			1	1					
	直通	市役所等			3	2		1		
		北陸電力			1	1				
		中日本高速			1	1				
	その他	自動気象観測装置			2	1				1
電光掲示板			2		1		1			
監視カメラシステム			3	1	1		1			
非常サイレン			21	1	6		14			
緊急用信号機			3	1	1		1			

119番受信状況

平成20年中

種別 \ 月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
火災	6	1	6	14	4	10	15	20	2	3	13	12	106
	<1>											<2>	<3>
			(5)	(9)	(1)	(5)	(11)	(1)	(1)	(1)	(10)	(4)	(48)
救急	189	170	156	153	190	151	173	168	172	196	144	170	2032
	<13>	<14>	<5>	<14>	<10>	<8>	<18>	<17>	<16>	<26>	<15>	<15>	<171>
	(44)	(50)	(37)	(42)	(57)	(47)	(45)	(59)	(49)	(49)	(46)	(54)	(579)
救助	5	1	5	4	5	2	4	5	3	4	2	6	46
			<1>				<1>			<1>			<3>
	(5)	(1)	(4)	(4)	(5)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(2)	(4)	(36)
その他災害							1	2	1	3	1		8
							<1>			<2>	<1>		<4>
													(0)
調査	1				3	2	5	2	1		2	1	17
						<1>	<3>					<1>	<5>
	(1)					(1)	(1)	(1)	(1)		(1)		(6)
訓練	12	12	23	15	50	58	24	26	24	52	32	33	361
			<2>	<1>		<1>	<5>	<3>	<2>	<4>	<1>	<3>	<22>
	(3)		(4)		(1)	(1)	(1)		(1)	(3)	(2)		(16)
いたずら	3	3	2	1	1		2	1		1	2	1	17
											<1>		<1>
	(1)										(1)		(2)
間違い	25	12	15	24	23	18	23	23	17	21	19	17	237
	<2>	<1>		<3>				<3>	<2>		<2>	<1>	<14>
	(5)	(4)	(2)	(4)	(8)	(5)	(9)	(11)	(6)	(9)	(5)	(6)	(74)
問い合せ	15	10	16	19	19	8	20	10	20	29	29	14	209
	<1>	<1>		<1>			<3>		<2>	<2>	<2>	<1>	<13>
	(4)	(8)	(9)	(5)	(8)	(3)	(8)	(2)	(9)	(11)	(11)	(4)	(82)
病院照会	18	7	12	8	12	11	15	12	5	4	5	8	117
						<1>	<2>		<2>		<1>	<2>	<8>
	(11)	(3)	(6)	(4)	(6)	(7)	(5)	(4)	(3)	(1)		(4)	(54)
その他	11	7	9	7	5	8	10	18	21	30	15	22	163
	<2>			<1>		<3>	<2>	<2>	<1>	<2>	<1>	<1>	<15>
	(8)	(4)	(2)	(5)		(2)	(4)	(5)	(8)	(13)	(4)	(12)	(67)
回線試験	9	26	21	10	13	7	9	21	62	17	33	12	240
		<1>							<21>				<22>
	(1)	(1)	(4)	(2)		(1)	(1)	(2)	(10)	(4)		(3)	(29)
計	294	249	265	255	325	275	301	308	328	360	297	296	3553
	<19>	<17>	<8>	<20>	<10>	<14>	<34>	<26>	<46>	<37>	<24>	<26>	<281>
	(83)	(71)	(73)	(75)	(86)	(74)	(88)	(86)	(90)	(94)	(82)	(91)	(993)

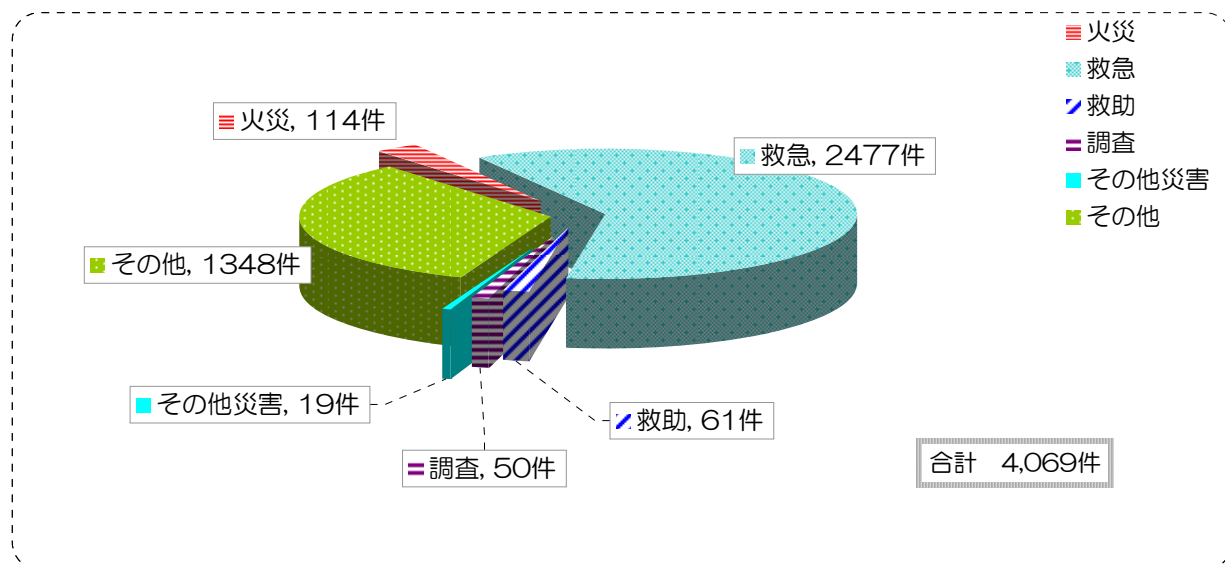
< > 内は、IP119番受信回数
() 内は、携帯119番受信回数

その他の緊急通報受信状況

平成20年中

月別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
種別	加入													
	駆付													
火災	自己													
	その他													
救急	加入	42	40	29	27	42	30	45	45	22	34	7	32	395
	駆付	6		4	4	3	2	6	2	3	1	2	1	34
	自己	3			2	1	3	4	2				1	16
	その他													0
救助	加入		2	3		1	2	4			2		1	15
	駆付													0
	自己													0
	その他													0
その他災害	加入				1			3		3				7
	駆付													0
	自己							1		3				4
	その他													0
調査	加入	2	6		2	6	4	5	4	1			1	31
	駆付				1									1
	自己						1							1
	その他													0
その他	加入				2		1	1						4
	駆付													0
	自己													0
	その他													0
合計		53	52	36	41	53	43	69	55	32	37	9	36	516

災害別覚知状況



月別降雨量（過去5年間）

観測地 消防本部
(単位：mm)

月別 年別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
平成16年	119	75	94	91	247	132	105	39	131	121	140	125	1419
平成17年	209	170	168	52	100	75	312	187	89	143	223	819	2547
平成18年	173	130	253	139	179	52	536	17	265	94	195	196	2227
平成19年	152	142	170	51	158	247	214	164	87	181	156	496	2216
平成20年	176	173	132	124	182	136	188	170	214	131	238	203	2064

過去5年間の気象状況

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	計
快晴日	25	17	8	16	4	70
晴天日	150	137	130	126	158	701
曇天日	136	117	149	161	134	697
雨天日	42	63	59	56	52	272
雪天日	13	31	19	6	18	87

気象情報受信状況

平成20年中

種別		月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
情報・通報	大雨								5	13		6			24
	大雪		5	2	4									9	20
	台風								10	8	6				24
	低気圧														0
	記録的短時間大雨											2			2
	高温少雨									1					1
	梅雨							1		1					2
	地震		4	1	17	8	4	5	2	4	2	1		4	52
	火災気象			8	6	9	11	3		1		1			39
注意報	大雨			1	1		1	3	9	17	1	5	6	6	50
	洪水			1	1		1	3	9	17	1	5	6	6	50
	雷		19	20	21	17	12	13	16	36	17	15	18	38	242
	大雪				3									1	4
	風雪			2	5									7	14
	融雪														0
	雪崩														0
	強風		9	19	16	8	10	5	3	5	2	9	20	13	119
	波浪		12	25	20	7	9	2	4	3	3	9	25	27	146
	高潮										1		4		5
	霜				2	16									18
	濃霧		6	6	4	5		1	5		3	3	4	5	42
	乾燥			8	3	15	13	1				1			41
警報	大雨									3		1			4
	洪水									3		1			4
	大雪														0
	波浪		6	4	7								1	3	21
計			61	97	110	85	61	37	63	112	36	59	84	119	924

火災統計

平成20年中における火災の概要

1. 火災発生件数と火災種別

- (1) 平成20年中の火災発生件数は35件で、前年より8件の増加となった。
- (2) 火災種別では、「建物火災」が28件で前年より6件の増加となっており、全火災の約80%を占めている。そのうち住宅からの火災は14件であった。次いで、「車両火災」が4件、「その他の火災」が3件であった。

2. 損害額と焼損面積

- (1) 損害の総額は1億2,295万9千円で、前年に比べ7,703万2千円の大幅な増加となり、火災1件あたりの損害額も351万3千円と前年に比べ181万2千円の増加となっている。
- なお、火災種別ごとの損害額は「建物火災」によるものが1億2,233万8千円で全損害額の約99%を占め、そのうち住宅火災による損害額が6,779万4千円で建物火災損害額の約55%となっている。
- また、「車両火災」によるものが61万6千円、「その他の火災」によるものが5千円であった。
- (2) 建物の焼損棟数は36棟で、前年に比べ6棟増加し、焼損程度別では全焼8棟、半焼4棟、部分焼14棟、ぼや10棟となっている。
- 焼損床面積の合計は2,353㎡で、建物火災1件あたりの焼損床面積は84.0㎡となっている。

3. 死傷者

火災による死者は3名（前年1名）で、負傷者は5名（前年5名）であった。

なお、死者は放火自殺によるもので、負傷者は初期消火中によるものが5名である。

4. 出火原因

火災の主な出火原因は、「放火・放火の疑い」が6件で最も多く、次いで「こんろ」「落雷」が3件となっている。

5. 出火率等

出火率（人口1万人あたりの火災件数）は3.4（前年2.6）であり、火災は10.5日（前年13.5日）に1件の割合で発生したことになる。

なお、「平成20年版消防白書」による全国平均出火率は4.3である。

6. 初期消火の状況

火災総数35件中、関係者及び付近民等が初期消火を実施したのは19件（54%）で、そのうち消火に成功したものは7件で成功率は37%であった。

また、初期消火に使用した消火器具は「粉末消火器」が9件で最も多く、次いで「水道水」が3件となっている。

火災発生状況(過去5年間)

(△は減少)

区分		年別	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	前年比較
火災件数 (件)	建物		17	22	30	22	28	6
	林野		1	1	0	0	0	0
	車両		5	6	4	2	4	2
	その他		3	1	3	3	3	0
	合計		26	30	37	27	35	8
焼損棟数 (棟)	全焼		6	12	10	8	8	0
	半焼		0	5	7	2	4	2
	部分焼		9	10	20	7	14	7
	ぼや		10	6	18	13	10	△3
	合計		25	33	55	30	36	6
焼損面積	建物床面積 (㎡)		793	1,748	3,923	1,210	2,353	1,143
	建物表面積 (㎡)		147	129	305	35	99	64
	林野 (a)		4	12	0	2	0	△2
罹災世帯数 (世帯)	全損		0	12	6	3	4	1
	半損		0	12	3	1	3	2
	小損		10	3	21	7	9	2
	合計		10	6	30	11	16	5
罹災人員 (人)			28	21	76	17	50	33
損害額 (千円)	建物		67,775	53,893	154,889	44,667	122,338	77,671
	林野		917	356	0	0	0	0
	車両		3,601	2,569	996	130	616	486
	その他		310	0	2	1,130	5	△1,125
	合計		72,603	56,818	155,887	45,927	122,959	77,032
死傷者数 (人)	死者		0	1	2	1	3	2
	負傷者		2	3	24	5	5	0
火災発生間隔 (日)			14.1	12.2	9.9	13.5	10.5	△3.0
1件平均損害額 (千円)			2,792	1,894	4,213	1,701	3,513	1,812
1日平均損害額 (千円)			199	156	427	126	336	210
1件平均建物損害額 (千円)			3,987	2,450	5,163	2,030	4,369	2,339
1日平均建物損害額 (千円)			186	148	424	122	334	212
1件平均建物焼損床面積 (㎡)			46.6	79.5	130.8	55.0	84.0	29.0
1日平均建物焼損床面積 (㎡)			2.2	4.8	10.7	3.3	6.4	3.1
一世帯当たり損害額 (円)			2,227	1,841	4,656	1,368	3,659	2,291
出火率(人口1万人あたりの火災件数)			2.5	2.9	3.6	2.6	3.4	0.8

行政区域別火災発生状況

平成20年中

区分		市町別	越前市	池田町	南越前町	計 (平均)
火災件数 (件)	建物		26	2		28
	林野					0
	車両		2		2	4
	その他		2		1	3
	合計		30	2	3	35
焼損棟数 (棟)	全焼		6	2		8
	半焼		4			4
	部分焼		13	1		14
	ぼや		9	1		10
	合計		32	4	0	36
焼損面積	建物床面積 (㎡)		1,686	667		2,353
	建物表面積 (㎡)		85	14		99
	林野 (a)					0
罹災世帯数 (世帯)	全損		2	2		4
	半損		3			3
	小損		9			9
	合計		14	2	0	16
罹災人員 (人)			45	5		50
損害額 (千円)	建物		106,737	15,601		122,338
	林野					0
	車両		404		212	616
	その他		5			5
	合計		107,146	15,601	212	122,959
死傷者数 (人)	死者		2		1	3
	負傷者		5			5
火災発生間隔 (日)			12.2	183.0	122.0	10.5
1 件平均損害額 (千円)			3,572	7,801	71	3,513
1 日平均損害額 (千円)			293	43	1	336
1 件平均建物損害額 (千円)			4,105	7,801	0	4,369
1 日平均建物損害額 (千円)			292	43	0	334
1 件平均建物焼損床面積 (㎡)			64.8	333.5	0.0	84.0
1 日平均建物焼損床面積 (㎡)			4.6	1.8	0.0	6.4
人口一人当たり損害額 (円)			1,246	4,612	17	1,209
一世帯当たり損害額 (円)			3,752	14,365	58	3,659

月別火災発生状況

平成20年中

区分		月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災件数	建物		4	1	2	2	1	3	2	3	2		6	2	28
	林野														0
	車両					1		1		1		1			4
	その他		1			1			1						3
	計(件)		5	1	2	4	1	4	3	4	2	1	6	2	35
焼損棟数	全焼				2	1				3			1	1	8
	半焼								1		1		1	1	4
	部分焼		3			2	1	3		1			3	1	14
	ぼや		1	1	1				1	2	1		3		10
	計(棟)		4	1	3	3	1	3	2	6	2	0	8	3	36
焼損面積	建物	床面積(m ²)	18		574	418		21	137	394	57		258	476	2,353
		表面積(m ²)	45	3	4	12	2	9	1	5			12	6	99
	林野(a)														0
罹災世帯	全損				1	1				1				1	4
	半損								1		1		1		3
	小損		3					1		1			4		9
	計(世帯)		3	0	1	1	0	1	1	2	1	0	5	1	16
罹災人員			10		3	2		4	3	7	2		18	1	50
損害額	建物		4,420	2	44,156	7,162	109	1,898	11,191	8,627	944		24,894	3,931	107,334
	収容物		489		3,647	1,188		850	3,100	932	1,502		1,518	1,778	15,004
	林野														0
	車両					5		183		207		221			616
	その他								5						5
	計(千円)		4,909	2	47,803	8,355	109	2,931	14,296	9,766	2,446	221	26,412	5,709	122,959
死傷者	死者		2							1					3
	負傷者							1	1	1			2		5

用途別・原因別火災発生状況

平成20年中

原因別 用途別		放火・疑放火	こんろ	落雷	たばこ	電灯・電話等の配線	焼却炉・炉	電気機器・電気装置	排気管	たき火	ストーブ	取灰	火遊び	その他	不明・調査中	計	損害額 (千円)	焼損面積		
																		建物		林野
																		床面積 (㎡)	表面積 (㎡)	
建物	専用住宅	2	2	3	1			1		1	1			2	1	14	67,794	1,146	76	
	飲食店	1				1								1		3	40,312	325	4	
	工場						1								1	2	731		1	
	作業場							1								1	30			
	遊技場					1										1	109		2	
	物置											1		1		2	1,638	141	1	
	複合用途 防火対象物														1	1	8,107	418	10	
	その他	1	1				1						1			4	3,617	323	5	
林野															0					
車両		1							2					1		4	616			
その他		1			1									1		3	5			
合計		6	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	6	3	35	122,959	2,353	99	0

出火原因別（発火源・経過・着火物）火災発生状況

平成20年中

	原因	発火源	経過	着火物	件数
建物火災 28件	放火の疑い	不明	放火の疑い	不明	2
			放火の疑い	可燃性固体	1
	こんろ	ガスこんろ	過熱する	動植物油	1
			放置する、忘れる	板張りベニヤ	1
		七輪こんろ	本来の用途以外の不適の用に用いる	竹及び竹製品	1
	不明	不明	不明	電線被類	1
				布団	1
				不明	1
	電灯・電話等の配線	屋内配線	電線が短絡する	電線被類	1
		屋外配線	絶縁劣化による発熱	電線被類	1
	放火	ライター	放火	第二石油類	1
	たばこ	たばこ	再燃	たばこ	1
	電気器具	換気扇	電線が短絡する	その他	1
	電気装置	モーター	機械の調整異常	合成樹脂と成形品	1
	ストーブ	石油・ガソリンストーブ（開放式）	可燃物が火源の上に転倒落下	衣類	1
	焼却炉	ごみ焼却炉の火の粉	火の粉が散る、飛び火する	合成樹脂屋根材	1
	炉	電気炉	着火物が漏洩	第三石油類	1
	たき火	たき火の火の粉	放置する、忘れる	ごみ屑	1
	取灰	取灰	余熱で発火する	わら	1
	火遊び	その他	火遊び	袋及び紙製品	1
	その他	直撃雷	落雷する	その他	1
				不明	1
		間接雷	落雷する	電線被類	1
		火のついた紙（写真）	放置する、忘れる	カーペット	1
		その他の裸火	消したものが再燃	木・かな・のこぎり屑	1
		液化石油ガス固定したガス設備	その他	その他	1
		石油バーナー	その他	木材・木製品	1
車両火災 4件	排気管	高温気体-排気管	着火物が漏洩	第三石油類	1
		排気管	可燃物が動いて火源に触れる	第二石油類	1
	放火の疑い	不明	放火の疑い	不明	1
	その他	交通機関内配線	衝突により発火	電気配線類	1
その他3の火災	放火	ライター	放火	衣類	1
	たばこ	たばこ	不適当な所に捨て置く	枯草	1
	その他	線香	引火する	LPG	1

初期消火の状況

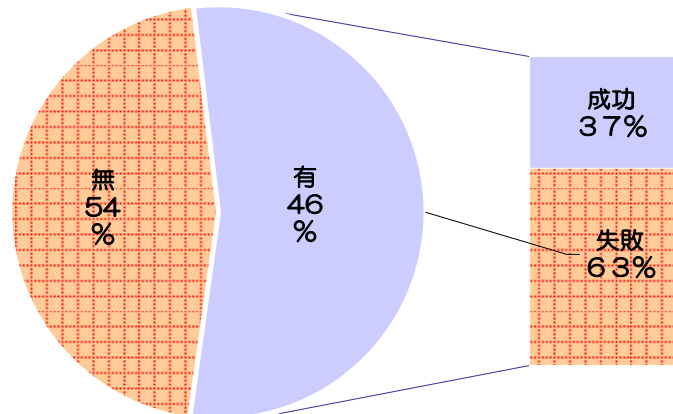
(1) 初期消火の有無

	件 数
有	19
無	16
合 計	35

(2) 初期消火の効果

	件 数
成 功	7
失 敗	12
合 計	19

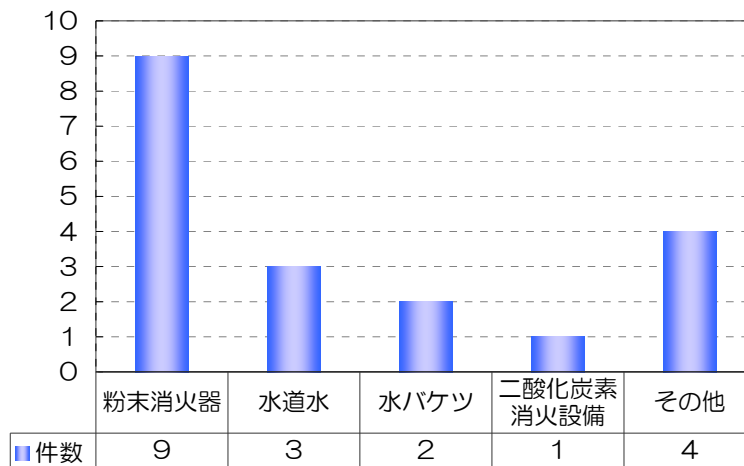
初期消火の有無及び効果



(3) 初期消火使用器具

	件 数
粉末消火器	9
水道水	3
水バケツ	2
二酸化炭素 消火設備	1
その他	4
合 計	19

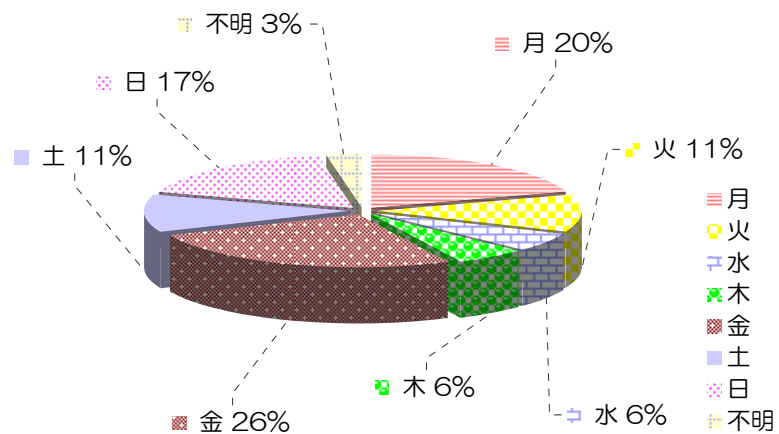
初期消火使用器具



曜日別火災発生状況

	件 数
月	7
火	4
水	2
木	2
金	9
土	4
日	6
不明	1
合計	35

曜日別火災発生状況



救急・救助統計

平成 20 年中における救急・救助の概要

救 急

1. 出場件数

平成 20 年中の救急出場件数は 2,528 件、搬送人員は 2,478 人で、これは、毎日約 7 件出場し、7 人を搬送したこととなり、また、管内住民 41 人に 1 人の割合で救急搬送されたこととなる。

尚、救急出場件数は、前年に比べ 22 件減少し、また、搬送人員も 27 人減少した。

2. 事故種別

事故種別毎では、上位が「急病」の 1,449 件で最も多く全体の半数以上(57.3%)を占めており、次いで多いのは「一般負傷」で 362 件(14.3%)、「交通事故」336 件(13.3%)、「転院搬送」259 件(10.2%)となっている。

3. 走行距離と収容時間

救急出場 1 件当たりの平均走行距離は 21.6 km であり、南消防署、池田分署、河野分署が平均走行距離を大きく上回っている。

現場到着までの平均時間は 5.4 分で、医療機関へ収容するまでの平均収容時間は 24.9 分であった。

4. 傷病程度別搬送人員

救急搬送した 2,478 人の傷病程度は、次のとおりである。

○重症	628 人	25.3%
○中等症	698 人	28.2%
○軽症	1,073 人	43.3%
○死亡	71 人	2.9%
○傷病無し	8 人	0.3%

5. 応急処置状況

応急処置実施総件数は 7,765 件となり、これは搬送傷病者 1 人平均 3.1 件の応急処置を実施したことになる。

応急処置項目では、血中酸素飽和度測定(2,246 件)・血圧測定(2,223 件)が最も多く、心電図測定(874 件)、次いで酸素吸入(658 件)の順となっている。また、除細動は 7 件、食道閉鎖式チューブ等使用による気道確保は 16 件、静脈路確保は 13 件であった。

なお、平成 18 年 7 月より運用を開始した薬剤投与(アドレナリン)認定救命士による薬剤投与は 3 件であった。

6. 北陸自動車道における出場状況

北陸自動車道への救急出場件数は 36 件・搬送人員は 36 人であり、前年に比べ出場件数で 8 件・搬送人員で 10 人増加した。

救 助

1. 出場件数と事故種別

平成 20 年中における出場件数は 72 件で、前年に比べて 15 件の増加となっており、南越消防組合発足以来最も多い出場件数となった。

事故種別毎の出場件数は、交通事故が 42 件で最も多く、全出場件数の 58.3 パーセントを占めており、以下その他の事故が 22 件、水難事故が 5 件、建物等による事故が 2 件、機械による事故が 1 件となっている。

その他の事故には、高所からの転落事故が 7 件、搜索を含む山岳域での事故が 6 件含まれる。

救助人員は 32 名で、前年に比べて 6 名の増加となった。

2. 月別、時間別、曜日別出場状況

月別の出場件数では、12 月が 10 件と最も多く、10 月が 9 件、3 月、5 月及び 7 月が 8 件、8 月、9 月及び 11 月が 6 件と続いている。

時間別の出場件数では、16 時から 18 時が 11 件と最も多く、10 時から 12 時が 10 件で続いている。

曜日別の出場件数では、水曜日が 15 件と最も多く、火、金曜日が 12 件で続き、以下土曜日が 11 件、木曜日が 9 件、日曜日が 7 件、月曜日が 6 件となった。

3. 北陸自動車道における出場状況

北陸自動車道への出場件数は前年より 1 件増加し 6 件であったが、救助人員は前年と同数の 1 名であった。

署所別救急出場状況

平成20年中

署所別 事故種別		中 消 防 署	東 消 防 署	池 田 分 署	南 消 防 署	河 野 分 署	計
火 災		5	1		2		8
自 然 災 害		1					1
水 難					1	4	5
交 通 事 故		155	102	7	50	22	336
労 働 災 害		11	3	3	7		24
運 動 競 技		9	6		4		19
一 般 負 傷		181	94	14	61	12	362
加 害		4	2				6
自 損 行 為		28	18	1	5	1	53
急 病		716	412	59	194	68	1,449
そ の 他	転院搬送	145	65	28	19	2	259
	医師搬送	2					2
	器材搬送						0
	その他	1	3				4
合計(件)		1,258	706	112	343	109	2,528
割合(%)		49.8	27.9	4.4	13.6	4.3	100%
1日平均 出場件数		3.4	1.9	0.3	0.9	0.3	6.9
平均現場到着 時間(分)		4.8	5.5	5.4	6.9	5.7	5.4
平均収容所要 時間(分)		21.4	23.8	40.9	30.8	37.2	24.9
平均総所要 時間(分)		42.9	49.3	86.5	64.1	74.9	50.9
平均走行 距離(km)		14.4	20.1	49.9	35.8	39.8	21.6

月別救急出場状況

平成20年中

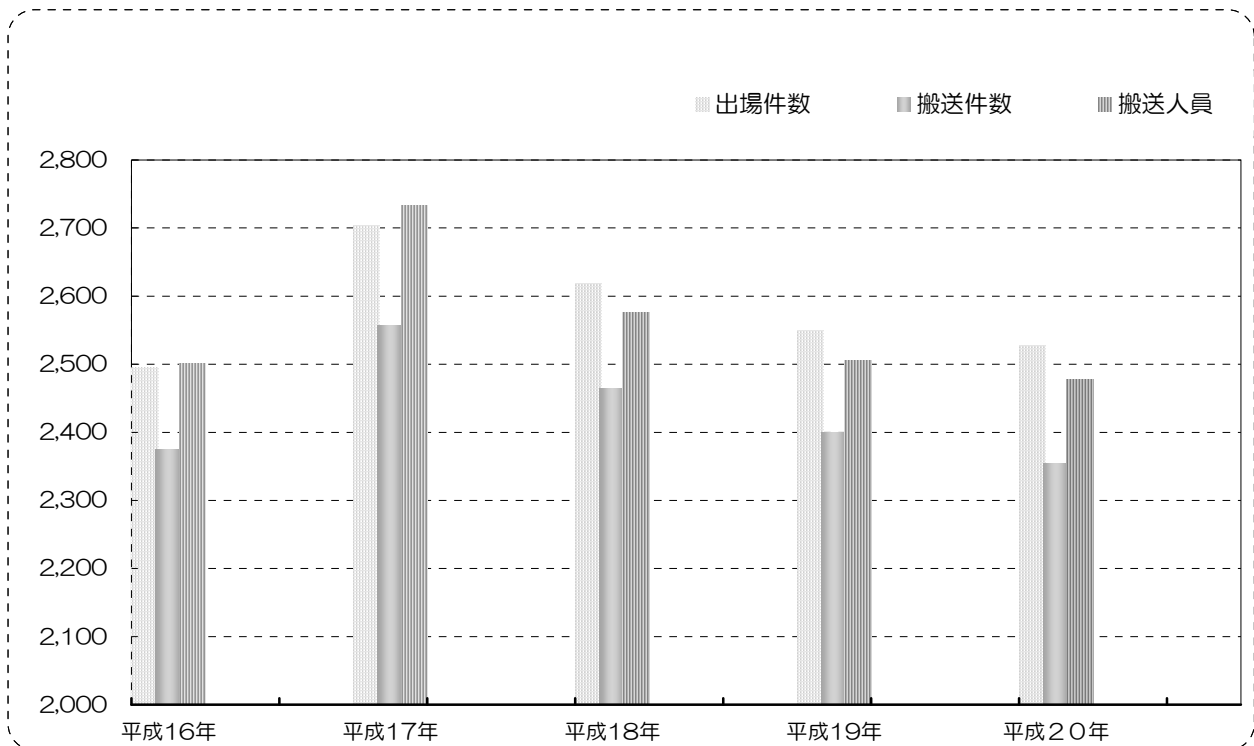
月別	種別 区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	前年比較
												転院搬送	医師搬送	器材搬送	その他		
1	出場件数				33	3		32	1	6	149	18	1			243	18
	搬送人員				48	3		31	1	5	142	19				249	28
2	出場件数	1			28	3	1	32		1	113	23				202	16
	搬送人員				37	3	1	31		1	107	23				203	28
3	出場件数				26	1	2	26	2	4	117	16				194	△ 29
	搬送人員				29	1	2	25	2	3	109	16				187	△ 29
4	出場件数				17	1	1	28		4	115	12			1	179	△ 39
	搬送人員				20	1	1	26		4	112	12				176	△ 39
5	出場件数				29	1	3	26	1	5	136	28				229	19
	搬送人員				40	1	3	25	2	4	126	28				229	21
6	出場件数	2			29		3	28	1	7	89	21				180	△ 7
	搬送人員	1			31		3	28	1	5	84	21				174	△ 15
7	出場件数	1	1	1	25	1	2	33		8	131	26				229	14
	搬送人員	1	2		29	1	2	31		3	126	26				221	2
8	出場件数	2		1	28	2	3	35		4	117	31				223	△ 5
	搬送人員	1		1	36	2	3	33		2	104	31				213	△ 8
9	出場件数			1	23	4	1	24		6	126	25			1	211	33
	搬送人員			1	25	4	1	23		2	121	25			2	204	28
10	出場件数			1	36	5	1	31		6	136	23				239	16
	搬送人員				38	4	1	30		2	123	23				221	7
11	出場件数	1			30	2	1	25		2	106	17			1	185	△ 51
	搬送人員	1			37	2	1	25		3	101	17				187	△ 36
12	出場件数	1		1	32	1	1	42	1		114	19	1		1	214	△ 7
	搬送人員			1	43	1	1	40	1		108	19				214	△ 14
計	出場件数	8	1	5	336	24	19	362	6	53	1449	259	2	0	4	2528	△ 22
	搬送人員	4	2	3	413	23	19	348	7	34	1363	260	0	0	2	2478	△ 27

傷病程度別搬送人員

平成20年中

種別 程度別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計	割合(%)
重症	1		1	50	7		109		7	324	129		628	25.3
中等症	2		1	62	6	3	72	2	16	426	107	1	698	28.2
軽症	1	2		295	9	16	159	5	7	557	22		1,073	43.3
死亡			1	3	1		6		4	54	2		71	2.9
その他				3			2			2		1	8	0.3
計	4	2	3	413	23	19	348	7	34	1,363	260	2	2,478	100

過去5年間にける救急出場状況



	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
出場件数	2,495	2,704	2,619	2,550	2,528
搬送件数	2,375	2,557	2,464	2,400	2,355
搬送人員	2,501	2,733	2,576	2,505	2,478

応急処置の状況

平成20年中

署所別 処置項目		中 消 防 署	東 消 防 署	池 田 分 署	南 消 防 署	河 野 分 署	計
止血		21	14	3	19	5	62
固定		170	124	9	64	18	385
人工呼吸		3	2	1	4		10
心臓マッサージ							0
心肺蘇生		40	19	4	9	4	76
酸素吸入		314	159	49	104	32	658
気道確保		68	37	5	18	7	135
	(経鼻エアウェイ)		1				1
	(喉頭鏡・鉗子による異物除去)		2				2
	(ラリングアルマスク等)	3	3	1	3	1	11
	(気管挿管)						0
保温		202	211	41	127	45	626
被覆		51	37	4	28	6	126
ショックパンツ							
除細動		4	1	1	1		7
静脈路確保		5	4	1	3		13
薬剤投与			2		1		3
血圧測定		1,130	599	98	307	89	2,223
在宅療法の継続		1		1	3		5
聴診器による 心音呼吸音聴取		51	34	7	37	11	140
血中酸素飽和度測定		1,135	615	97	311	88	2,246
心電図測定		392	242	64	141	35	874
	(心電図伝送)		5	2		2	9
その他		128	21	9	10	8	176
合 計		3,715	2,121	394	1,187	348	7,765

北陸自動車道における救急出場状況

平成20年中

署所別 区分		中消防署	東消防署	南消防署	計
出場件数			10	26	36
不搬送件数			4	5	9
搬送人員			7	29	36
事故種別	交通事故		5	18	23
	急病		4	4	8
	一般負傷			3	3
	その他		1	1	2
傷病程度別	死亡			1	1
	重症		1		1
	中等症		4	4	8
	軽症		2	24	26
	その他				

救助出場状況

平成20年中

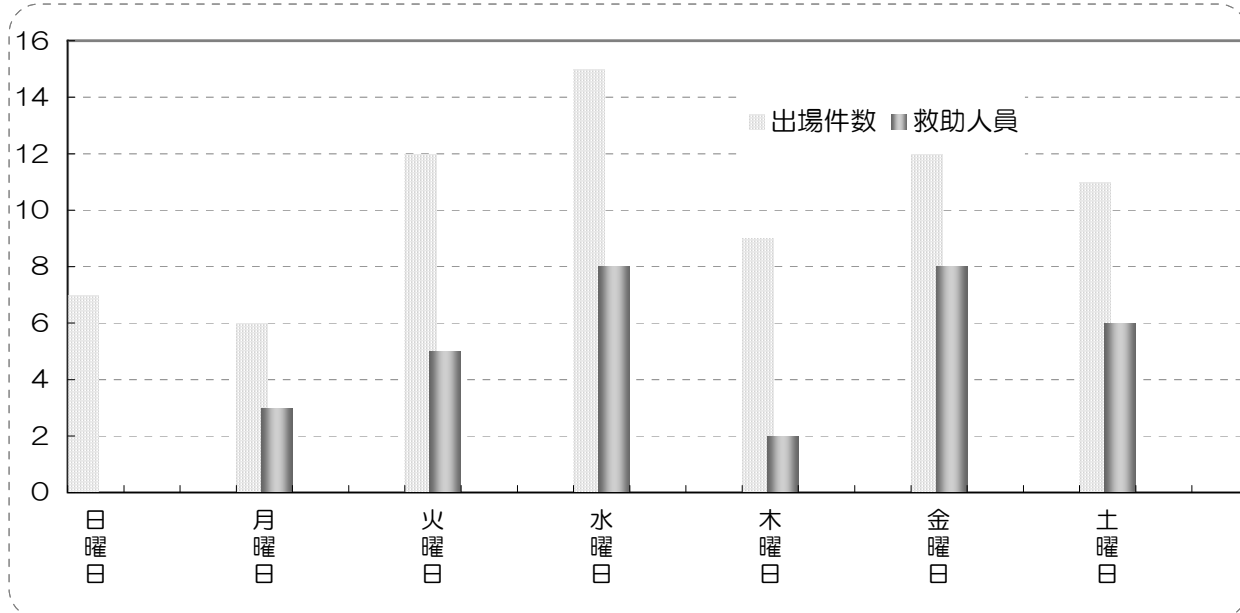
事故種別		月別												計	前年比較
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災	出場件数													0	0
	活動件数													0	0
	救助人員													0	0
交通事故	出場件数	2	3	5	1	5	2	3	3	3	4	5	6	42	1
	活動件数	1	0	0	1	4	1	0	1	1	0	3	4	16	0
	救助人員	1	0	0	1	4	1	0	1	1	0	3	4	16	△ 4
水難事故	出場件数							1	1	1	1		1	5	1
	活動件数							0	0	1	0		0	1	0
	救助人員							0	0	1	0		0	1	0
風水害・自然災害	出場件数													0	0
	活動件数													0	0
	救助人員													0	0
機械による事故	出場件数	1												1	△ 4
	活動件数	1												1	△ 2
	救助人員	1												1	△ 2
建物等による事故	出場件数					1							1	2	△ 1
	活動件数					1							1	2	△ 1
	救助人員					1							1	2	△ 2
ガス及び酸欠事故	出場件数													0	0
	活動件数													0	0
	救助人員													0	0
爆発事故	出場件数													0	0
	活動件数													0	0
	救助人員													0	0
その他の事故	出場件数			3	1	2	1	4	2	2	4	1	2	22	15
	活動件数			1	1	0	0	2	1	0	4	1	2	12	10
	救助人員			1	1	0	0	2	1	0	4	1	2	12	10
合計	出場件数	3	3	8	2	8	3	8	6	6	9	6	10	72	15
	活動件数	2	0	1	2	5	1	2	2	2	4	4	7	32	10
	救助人員	2	0	1	2	5	1	2	2	2	4	4	7	32	6

発生場所別救助出場状況

平成20年中

発生場所			件数等	出場件数	活動件数	救助人員
屋 内	住居		5	5	5	
	その他の屋内		4	1	1	
屋 外	道 路	高速自動車国道	6	1	1	
		その他の道路	32	15	15	
	水 面	内水面	4	3	3	
		外水面	6	2	2	
	山岳		7	2	2	
	その他の屋外		8	3	3	
地下			0	0	0	
その他			0	0	0	
計			72	32	32	

曜日別救助出場状況



	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
出場件数	7	6	12	15	9	12	11
救助人員	0	3	5	8	2	8	6

消防団

南越消防組合消防団の沿革

消防団は、消火活動だけでなく、地震や風水害等多数の動員を必要とする大規模災害時の救助救出活動、避難誘導、災害防ぎょ活動など地域住民の生命や財産を守るために活躍しています。さらに、平常時においても、住民への防火指導、巡回広報、特別警戒、応急手当指導等、地域に密着した活動を展開しており、地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割果たしています。組合管内には3団30分団が活動しています。

消防団の沿革

年月日	沿 革
昭和45.9.1	武生市及び今立町で「南越消防組合」を設立 (定員武生消防団450名、今立消防団106名)
昭和46.10.1	南条町、河野村が南越消防組合に加入
昭和46.10.15	団員定員条例改正(南条消防団60名、河野消防団93名)
昭和47.3.30	団員定員条例改正(河野消防団60名)
昭和47.10.1	今庄町、池田町が南越消防組合に加入
昭和47.10.30	団員定員条例改正(池田消防団63名、今庄消防団105名)
昭和47.11.6	北陸トンネル内列車火災事故発生、救助活動を展開
昭和48.4.1	南越地区消防協会設立
昭和48.9.1	内閣総理大臣表彰(北陸トンネル列車火災事故での救助活動に対し)
昭和50.7.12	福井県消防操法大会小型ポンプの部優勝(武生消防団第3分団)
昭和53.8.29	団員定員条例改正(池田消防団60名)
昭和56.7.31	福井県消防操法大会ポンプ車の部優勝(池田消防団第4分団)
昭和57.7.1	南越地区消防協会を南越消防協会に改称
昭和57.8.9	福井県消防操法大会ポンプ車の部優勝(今庄消防団本部分団)
昭和57.10.11	全国消防操法大会出場(今庄消防団本部分団)
昭和62.3.4	消防庁長官表彰(今庄消防団表彰旗)
平成2.4.1	消防団活動強化事業を実施(3ヵ年)
平成2.10.1	武生消防団に女性消防団員誕生(12名)
平成4.3.4	消防庁長官表彰(今立消防団表彰旗)
平成5.3.3	消防庁長官表彰(河野消防団表彰旗)
平成5.11.18	自治体消防45周年記念式典参加(東京ドーム)
平成7.3.3	消防庁長官表彰(南条消防団表彰旗)
平成9.3.6	消防庁長官表彰(池田消防団表彰旗)
平成9.1.24~	ロシア船籍「ナホトカ号」沈没に伴う流出重油回収(河野海岸にてボランティア活動)
平成9.7.20	福井県消防操法大会小型ポンプの部優勝(武生消防団第6分団)
平成10.3.7	自治体消防50周年記念式典参加(日本武道館)
平成14.7.27	福井県消防操法大会小型ポンプの部優勝(今庄消防団本部分団)
平成15.3.27	消防庁長官表彰(武生消防団地域活動表彰)
平成15.11.20	自治体消防55周年記念式典参加(東京ドーム)
平成16.7.18~	福井豪雨により今立町及び池田町が被災したことによる水防活動を展開
平成16.11.6	福井県知事表彰(今立消防団、池田消防団福井豪雨特別功労竿頭級)
平成17.1.1	南条郡下町村合併により南越前消防団設立(南越前消防団225名)
平成17.7.23	福井県消防操法大会小型ポンプの部優勝(武生消防団第3分団)
平成17.10.1	武生市、今立町の合併により越前市消防団設立(越前市消防団556名)
平成20.3.7	(財)日本消防協会会長表彰「特別表彰まとい」(南越前消防団)
平成20.4.1	越前市消防団の分団を再編(18分団を17分団に)し、越前市消防団の分団名称を、地区名称に変更

消防団組織機構

区 分	組 織	担 当 地 区
越前市	越前市消防団 団長 — 副団長 —	東分団 東地区
		西分団 西地区
		南分団 南地区
		神山分団 神山地区
		吉野分団 吉野地区
		国高分団 国高地区
		大虫分団 大虫地区
		坂口分団 坂口地区
		王子保分団 王子保地区
		北日野分団 北日野地区
		北新庄分団 北新庄地区
		味真野分団 味真野地区
		白山分団 白山地区
		栗田部分団 栗田部地区
		岡本分団 岡本地区
		南中山分団 南中山地区
		服間分団 服間地区
池田町	池田消防団 団長 — 副団長 —	第 1 分団 角間郷地区
		第 2 分団 中地区
		第 3 分団 下地区
		第 4 分団 下池田地区
南越前町	南越前消防団 団長 — 副団長 —	第 1 分団 日野川以西
		第 2 分団 日野川以東
		第 3 分団 湯尾・宅良地区
		第 4 分団 今庄地区
		第 5 分団 鹿蒜地区
		第 6 分団 堺地区
		第 7 分団 糠地区
		第 8 分団 甲楽城・今泉・河野地区
		第 9 分団 桜橋地区

消防団員の配置状況

平成21年4月1日現在

各消防団		種別	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員
定員		841	3	11	35	40	85	667	
実員		748	3	9	30	30	78	598	
越前市消防団	定員	556	1	4	17	17	57	460	
	実員	514	1	4	17	17	55	420	
	団長等	13	1	4				8	
	東分団	27			1	1	3	22	
	西分団	35			1	1	4	29	
	南分団	30			1	1	3	25	
	神山分団	26			1	1	3	21	
	吉野分団	39			1	1	4	33	
	国高分団	43			1	1	4	37	
	大虫分団	34			1	1	3	29	
	坂口分団	18			1	1	2	14	
	王子保分団	33			1	1	4	27	
	北日野分団	32			1	1	3	27	
	北新庄分団	21			1	1	3	16	
	味真野分団	33			1	1	4	27	
	白山分団	36			1	1	4	30	
	粟田部分団	24			1	1	3	19	
	岡本分団	23			1	1	2	19	
	南中山分団	21			1	1	3	16	
	服間分団	26			1	1	3	21	
	池田消防団	定員	60	1	2	4	4		49
		実員	59	1	2	4	4		48
団長等		3	1	2					
第1分団		13			1	1		11	
第2分団		16			1	1		14	
第3分団		13			1	1		11	
第4分団		14			1	1		12	
南越前消防団	定員	225	1	5	13	18	28	160	
	実員	175	1	3	9	9	23	130	
	団長等	4	1	3					
	第1分団	20			1	1	2	16	
	第2分団	18			1	1	2	14	
	第3分団	24			1	1	4	18	
	第4分団	30			1	1	4	24	
	第5分団	12			1	1	2	8	
	第6分団	14			1	1	2	10	
	第7分団	12			1	1	2	8	
	第8分団	21			1	1	3	16	
	第9分団	20			1	1	2	16	

消防団員の年齢状況

平成21年4月1日現在 (単位:人)

年 齢 \ 区 分	合 計	越前市消防団	池田消防団	南越前消防団
20歳未満	0			
20歳以上~30歳未満	40	25	1	14
30歳以上~40歳未満	222	141	12	69
40歳以上~50歳未満	266	186	18	62
50歳以上~60歳未満	187	140	20	27
60歳以上	33	22	8	3
計	748	514	59	175

消防団員の勤続年数

平成21年4月1日現在 (単位:人)

年 数 \ 区 分	合 計	越前市消防団	池田消防団	南越前消防団
5年未満	173	134	9	30
5年以上~10年未満	148	108	6	34
10年以上~15年未満	142	90	12	40
15年以上~20年未満	135	83	13	39
20年以上~25年未満	87	56	9	22
25年以上~30年未満	40	27	4	9
30年以上	23	16	6	1
計	748	514	59	175

消防団員報酬

平成21年4月1日現在 (単位:円)

区分		支給金額		
年 報 酬	消防団別	越前市消防団	池田消防団	南越前消防団
	団長	95,000	82,100	82,100
	副団長	63,000	58,050	58,050
	分団長	45,800	45,800	45,800
	副分団長	29,100	29,100	29,100
	班長	17,600	--	17,600
	団員	13,900	13,900	13,900
出動報酬：1回につき 2,600円				

消防車両配置状況

(普通ポンプ自動車)

平成21年4月1日現在

団別	分団名	配置場所	車種	積載ポンプ級別名称年式	車名	初年度登録	排気量
越前市	国高分団	村国一丁目	A-2級BD-I型		ニッサン	平成7年	4,160
	坂口分団	湯谷町	A-2級BD-I型		ニッサン	平成4年	4,160
	王子保分団	四郎丸町	A-2級BD-I型		ニッサン	平成6年	4,160
	北日野分団	小野谷町	A-2級BD-I型		トヨタ	平成9年	4,160
	北新庄分団	北町	A-2級BD-I型		トヨタ	平成元年	3,950
	味真野分団	五分市町	A-2級BD-I型		ニッサン	平成6年	4,160
	白山分団	堀町	A-2級BD-I型		ニッサン	平成4年	4,160
	粟田部分団	粟田部町	A-2級BD-I型	C-1ラビット H7	トヨタ	平成元年	3,950
	岡本分団	岩本町	A-2級BD-I型	C-1トーハツ H5	トヨタ	平成12年	4,160
	南中山分団	西庄境町	A-2級BD-I型	C-1シバウラ H6	ニッサン	平成7年	4,160
	服間分団	藤木町	A-2級BD-I型	C-1シバウラ H3	ニッサン	平成3年	4,160
池田	第1分団	新保	A-2級BD-I型	C-1トーハツ H4	トヨタ	平成12年	4,160
	第2分団	稲荷	A-2級BD-I型		トヨタ	平成9年	4,160
	第3分団	谷口	A-2級BD-I型	C-1シバウラ H6	トヨタ	平成15年	4,160
	第4分団	千代谷	A-2級BD-I型	C-1トーハツ H5	ニッサン	平成6年	4,160
南越前	第1分団	東大道	A-2級BD-I型	C-1シバウラ H11	トヨタ	平成15年	4,160
	第3分団	湯尾	A-2級BD-I型	C-1トーハツ H5	トヨタ	平成9年	4,160
	第3分団	古木	A-2級BD-I型	C-1シバウラ H6	トヨタ	平成13年	4,160
	第4分団	今庄(梅ヶ枝)	A-2級BD-I型	C-1トーハツ H2	トヨタ	平成16年	4,160
	第5分団	上新道	A-2級BD-I型	C-1ラビット H7	トヨタ	平成元年	3,950
	第6分団	大門	A-2級BD-I型	C-1トーハツ H4	トヨタ	平成10年	4,160
	第7分団	糠	A-2級BD-I型	C-1トーハツ H1	トヨタ	昭和63年	3,950
	第8分団	甲楽城	A-2級BD-I型	C-1シバウラ H14	トヨタ	平成13年	4,160

H19.11第41分団車を第7分団車に配備

(小型動力ポンプ積載車)

団別	分団名	配置場所	積載ポンプ			車名	初年度登録	排気量
			級別	名称	年式			
越前市	東分団	国府二丁目	C-1級	ラビット	平成6年	スバル	平成6年	650
	西分団	中央二丁目	C-1級	トーハツ	平成7年	ダイハツ	平成7年	650
	西分団	高瀬一丁目	C-1級	シバウラ	平成15年	三菱	平成15年	650
	南分団	若竹町	C-1級	トーハツ	平成5年	ダイハツ	平成5年	650
	神山分団	広瀬町	C-1級	シバウラ	平成12年	ダイハツ	平成3年	650
	吉野分団	家久町	C-1級	シバウラ	平成15年	三菱	平成15年	650
	吉野分団	氷坂町	C-1級	ラビット	平成7年	スバル	平成10年	650
	国高分団	横市町	C-1級	シバウラ	平成9年	三菱	平成9年	650
	大虫分団	高森町	C-1級	トーハツ	平成5年	三菱	平成14年	650
	王子保分団	四郎丸町	C-1級	シバウラ	平成8年	三菱	平成8年	650
	北日野分団	大手町	C-1級	トーハツ	平成11年	ダイハツ	平成11年	650
	味真野分団	中居町	B-3級	トーハツ	平成4年	ダイハツ	平成13年	650
	白山分団	安養寺町	B-3級	トーハツ	平成4年	ダイハツ	平成4年	650
	岡本分団	轟井町	B-2級	シバウラ	平成21年	スズキ	平成21年	650
池田	第2分団	稲荷	C-1級	シバウラ	平成6年	ニッサン	平成3年	2,660
南越前	第1分団	脇本	C-1級	ラビット	平成12年	スバル	平成12年	650
	第2分団	鑄物師	C-1級	トーハツ	平成14年	ダイハツ	平成13年	650
	第4分団	今庄	B-3級	トーハツ	平成16年	ダイハツ	平成16年	650
	第9分団	赤萩	B-2級	シバウラ	平成18年	トヨタ	平成18年	2,490

小型動力ポンプ配置状況

平成21年4月1日現在

団別	分団別	配置場所	級別	名称	年式	馬力
越前市	南分団	松森町	C-1級	シバウラ	平成8年	15
	神山分団	池ノ上町	B-3級	トーハツ	平成2年	30
	国高分団	瓜生町	C-1級	シバウラ	平成10年	15
	国高分団	高木町	C-1級	シバウラ	平成8年	15
	大虫分団	大虫町	C-1級	トーハツ	平成9年	15
	北新庄分団	中新庄町	C-1級	シバウラ	平成3年	15
	北新庄分団	戸谷町	B-3級	シバウラ	昭和63年	30

関係団体

越前市防火・防災委員会

越前市の各世帯を構成単位とし、防火・防災を目的とする団体として組織されています。前身は、昭和26年10月、防火を目的に武生市防火委員会として設立されました。その後、合併により旧今立町の各世帯が加入したことから、平成17年10月に名称を越前市防火・防災委員会としました。

しかし、当時、災害が多発していたことから、目的に防災を加えることとし、平成19年4月1日、現在の名称に変更しました。

正しい防火の習慣の実践とともに、自助、共助精神のもと、あらゆる災害に立ち向かうための町内ぐるみの自主防災組織づくりを活動目標とし、各種の事業を推進しています。

委員会には264町内26,547世帯が加入しています。

南越地区危険物安全協会

南越消防組合管内における危険物取扱関係事業所並びに危険物等の設備工事を業とするもので組織されています。前身は、昭和36年6月に危険物の安全管理・災害予防対策の研究及びその広報等を目的とした危険物災害防止協力団体「武生市危険物安全協会」で、その後、消防組合の管轄に合わせ対象を拡大し、昭和51年5月に現在の名称に変更しました。

協会には、第1種から第4種会員まで276事業所が加入しています。

自警消防隊

各町内（区）単位で組織されており、火災予防のための広報活動やポンプ操法訓練など町内（区）の防火活動に取り組んでいます。また、近年は、大規模災害における初期消火、救出・救護等の活動にも対応できるよう、共助力の向上を目指し、自主防災組織の中核として位置づけられています。

管内自警消防隊の現況

平成21年4月1日現在

区分	隊数	隊員数	小型動力ポンプ台数
越前市	217隊	4,105名	181台
池田町	21隊	153名	21台
南越前町	67隊	809名	64台
合計	305隊	5,067名	266台

自警消防隊の連合会組織の状況

池田町自警消防隊連合会 平成 2年4月設立

南越前町自警消防隊連絡協議会 平成17年4月設立

越前市自警消防隊連合会 平成18年4月設立

越前市自警消防隊連合会は、市町合併に伴い武生市自警消防隊連合会と今立町自警消防隊連合会が統合し設立されました。なお、小学校区単位で10地区に連合組織が結成されています。

越前市自衛消防隊連絡協議会

越前市内の事業所の自衛消防隊により組織されています。昭和54年9月、消防機関と連携を密にして自衛消防技術の向上と災害の未然防止等に努めることを目的として、旧武生市内の事業所の自衛消防隊を構成員として設立されました。その後、合併により、平成17年10月1日、現在の名称に変更しました。協議会には78の事業所が加入しています。

少年消防クラブ（B F C）

小学校の児童に対し防火意識の高揚を図るため管内1市1町の小学校単位で結成されており、現在21班922名がクラブ員となって活動しています。

平成21年4月1日現在

区分	班数	クラブ員数
越前市	17班	800名
南越前町	4班	122名
合計	21班	922名

幼年消防クラブ

幼児期における防火意識の育成を図るため管内1市1町の幼稚園、保育園単位で結成されており、現在50班1,059名がクラブ員となって活動しています。

平成21年4月1日現在

区分	班数	クラブ員数
越前市	44班	850名
南越前町	6班	209名
合計	50班	1,059名

***** 平成 20 年 消防年報 *****
平成 21 年刊行

---編集発行---

南越消防組合消防本部

〒915-0846

福井県越前市千福町 126 番地

☎ 0778 (21) 0119

Fax 0778 (21) 0093

E-mail nsk119@city.echizen.lg.jp